

2006 年度
日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロングディスタンス競技部門
報 告 書



- 期日 2006(平成18)年9月17日
- 場所 長野県駒ヶ根市
- 主催 日本学生オリエンテーリング連盟
- 主管 2006年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロングディスタンス競技部門
- 後援 駒ヶ根市、駒ヶ根市教育委員会
毎日新聞社
長野県オリエンテーリング協会
- 協賛 中央アルプス観光株式会社
家族旅行村
- 協力 E S 関東クラブ

ご挨拶



クラブカップリレー大会とのタイアップで行われた今回のインカレロングですが、オリエンテーリングだけでなく、初秋の駒ヶ根散策や温泉、駒ヶ岳登山等々、様々な楽しみ方のできたイベントになったのではないかと思います。最終日のクラブカップリレーは残念ながら雨にたたられたものの、インカレロング当日は天候にも恵まれ、文字通り熱い戦いとなりました。また、よいトレインと地図でオリエンテーリングができる幸せを感じることができた大会でもあったと言えるのではないのでしょうか。

さて、新入クラブ員の皆さんはどのように感じたでしょうか。勝つ喜び、負ける悔しさ、仲間と力を合わせることで、他のクラブやライバル達との交流、地図作りや大会運営、健康維持増進、レース後の観光等々、冒頭にも書いたとおり、オリエンテーリングには様々な「楽しみ方」があります。皆さんには、自分なりの「楽しみ方」を見つけ出してほしいと思います。大事なことは、「楽しみ方」は一つだけではないこと、そして、その時々での自分の置かれた状況の中で新たな「楽しみ方」を見つけ出していくことです。これこそが永く続けるコツだと思います。学生の間は、インカレが大きな目標となることでしょう。ご承知のとおり、昨今の日本のオリエンテーリング界を取り巻く状況は、決してよいとは言えません。特に学連は加盟員の減少という厳しい波に洗われています。この背景に社会状況がある限り、即効性のある対策はないと言えるでしょう。そのような中でできることは、ひとりひとりが永く「楽しむ」ことを続けること、そしてそれを後輩達にも見せていくことなのではないのでしょうか。その意味でも、今回のようなクラブカップリレーとのコラボレーションはよい機会になったと思います。

最後になりましたが、実行委員会とその関係者の皆さん、大会準備と運営ご苦勞様でした。そして地元関係者の皆様には、様々な面でご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。日本学連を代表して、改めて御礼申し上げます。また、今後とも日本学連へのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟
会長 河合 利幸

ご挨拶



いよいよ今年度の春インカレが迫ってきました。学生の皆さんは、春インカレやもしかするとその後の新入生勧誘のことで頭がいっぱいかと思うのですが、少しでも秋インカレのことを思い出してみてください。

今年度も熱戦が繰り広げられ、応援にも熱が入りましたね。また、心配された天気もインカレでは崩れることはなく、しかも9月にしてはそれほど暑くない、素晴らしいコンディションで競技を楽しむことができました。さらに前日にはスプリント大会、次の日にはクラブカップリレーがあり、存分にオリエンテーリングをすることもできました。このように、一言で言えば非常に魅力的な大会だったと思うのですが、皆様にとってはいかがだったでしょうか。

話は変わるのですが、インカレ開会式で挨拶のために前に立たせていただきました。そのときに参加者結構少ないな、全国から集まってもこの程度なんだな、と痛感しました。数字としてオリエンテーリングをやる学生数の減少については理解していたつもりでしたが、実際この目でみると改めてショックを感じました。このまま競技者数が減少すると、インカレで考えれば大会の維持が難しくなってくるというように、厳しい状況にわれわれは立たされることになります。

またその話題かと思われる方もいらっしゃる方もいるかもしれません。しかし、この問題は私たちの抱えるもっとも重大な、しかも絶対に克服しなければならないものです。だからこそ私を含め多くの人がこの話題に言及しているのです。

ただ、ネガティブに考えても仕方ないとも思います。私は日本学連加盟員として約4年間活動する中で、オリエンテーリングに対して真摯な、且つ熱い考えを持つたくさんの学生の皆さんと出会いました。彼らが力を合わせれば、この苦境も必ず乗り越えられると確信しています。実際北東地区学連では加盟員の増加が見られます。絶望することはありません。

最後になりましたが、実行委員長の木村さんをはじめとするインカレ実行委員会の皆様、そしてインカレに対しさまざまなご協力をしてくださった地元の皆様に、日本学連加盟員を代表して篤く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

日本学生オリエンテーリング連盟
幹事長 市川 雄一郎

ご挨拶



参加された学生の皆さん、インカレロング 2006 を楽しんでいただけたでしょうか？日頃の練習の成果を十分に発揮することができたでしょうか？

学生選手権は年に 2 回開催され、秋にロングディスタンス競技、春にミドルディスタンスとリレーが開催されます。年間 2 回選手権大会を開催することによって、それぞれのシーズンでの目標となって欲しいという意図があります。

全国で活動するオリエンテーリングの学生競技者が一同に集まって、同じ場で競う。そして誰もが納得する結果を出すことによって、日頃の練習や競技発展の目標とする。これがインカレです。

なによりも同じ場で競うこと。そしてコースや地図の不整合によりもたらされる運の介在を極力減らすことにより、オリエンテーリングを真のスポーツとして捉えること。インカレの価値はまさにそこにあります。

自然を舞台とするオリエンテーリングというスポーツには、どうしても運が介在します。しかしその運の介在をなるべく少なくし、オリエンテーリングを真のスポーツに高めようと日本学連は努力しています。

オリエンテーリングを取りまく環境の変化に対応して、学生選手権のロングディスタンス競技を秋に行うようになって 3 回目の大会となりました。インカレロングを秋に移行させることを決定した 5 年前と比べても、オリエンテーリングを取り巻く環境が変化してきています。今回のインカレロングの学生参加者数は約 480 名。一時期 1000 名を超えた時期もあった秋インカレの学生参加者数はピーク時の半分までに落ち込んでいます。これは学連加盟員数の減少が影響しています。少子化や若者のスポーツ離れなどが影響が出ています。

いずれにせよ「ロング種目」を提供する秋インカレは、単独開催として黒字になることはできません。何らかのコラボレーションやスポンサーシップが必要です。今回は、クラブカップと複数日イベントにすることによって開催が可能となりました。

これからもインカレロング開催方法の模索は続きます。

いずれにせよ、夏場の練習成果を試す格好の舞台として、学生の目標となるような競技会であり、なおかつ 1 年生が初めて経験する全国の学生との競い合いの場となるよう、インカレロングを開催し続けたいと考えています。

今回、インカレロングを経験した学生のみなさん。インカレ開催の裏には多くの学生 OB の支援があります。今度はインカレを支える場に立ち、後輩へと舞台を提供しつづけていただくことをお願いいたします。

最後になりましたが、オリエンテーリングは競技を行う地元のかたの理解の上に成り立っています。今回のインカレロング 2006 は地元・駒ヶ根の皆様へたいへんご協力いただきました。このことに感謝し、あらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

2006 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロング・ディスタンス競技部門実行委員長 木村 佳司

目次

ご挨拶	2
役員一覧	3
将来への提言	4
イベントアドバイザー報告	4
選手権クラス成績	7
学生併設クラス成績	10
一般併設クラス成績	13
新聞報道	14
優勝者の言葉	15
コースプランナー解説	16
大会全コース位置説明	23
大会全コントロール地図	24

役員一覧

◆大会実行委員長

木村佳司

◆競技責任者

丸山茂樹

◆コース設定者

山川克則

◆イベントアドバイザー

西脇正展

◆裁定委員

吉村年史（広島大学 OB）、永田秀樹（京都大学 OB）

田代雅之（横浜国立大学 OB）

◆運営役員

E S 関東クラブ

宇津明範、大久保裕介、大滝民己、岡英樹、加藤弘之、

小暮喜代志、小林岳人、齋藤宏顕、堺信夫、新宅有太、

杉本光正、土井聡、長谷川恵子、広江淳良、藤原成文、増山歩、

宮川早穂、宮川祐子、柳澤貴、山本真司、渡辺円香

の場洋輔、立花聡

日本学連事業部

将来への提言

実行委員長 木村 佳司

インカレが、参加規模(人数や予算)と運営準備のリソースなどと整合しなくなってきて大改革に動き出したのが5年前。その時の議論は、インカレとしての質を保ち、かつ、ロング、ミドル、リレーの3種目を継続的に実施するためにはどうしたらいいのだろうか、というものでした。様々な意見が出ましたが、その結果として、もっとも調査リソースを必要とするロング種目を秋に変更し、他のイベントとのコラボレーションを模索する、という方向性が示されました。日程変更後3回目となった今回の大会では、完全に外部イベントへの委託という形態が取られ、結果としてきちんとしたロング競技が実施できたことで、改革が実を結んだと言えるでしょう。

改革という名の下では、ややもすると、重要な何かを捨てざるを得ない場面に直面しますが、その中にあって、「高品質」と「継続性」、この2つのキーワードは、絶対を守るべきものとして踏ん張り続けています。それは、競技スポーツとして、努力が正当に実を結ぶべき大会としての絶対に譲ることのできないアイデンティティであるからである。正当な目標としてのアイデンティティが存在しえるからこそ、選手が一番の目標としてインカレにむけて切磋琢磨し、そして多くのOBが、仕事や家庭に忙殺されながらも、最後は寝る時間を削ってインカレのため、オリエンテーリングの発展のため、それぞれの分野で粉骨砕身していく、大きなモチベーションとなっています。この、モチベーションがプツリと切れた時、その時は、本当にこのスポーツが終わりになりかねません。努力をするのはものすごく大変なことです、努力をやめるのは、実は至極簡単なことだからです。今はまさに踏ん張り時です。

しかし、改革論議を始めた頃より、さらに参加規模が減少してきていて、予算的にはさらに厳しい事態に直面しています。こういう時にこそ、熱い思いを共有できるインカレというすばらしい舞台を継続していく為に、それぞれが今できることは何か、今何をすべきかを、もう一度しっかりと立ち止まって議論していきたいと思います。

インカレに対する熱い思い、それをいつの時代も、現役学生もOBも、変わりなく持ち続けていくために、提言というには抽象的ですが、インカレネクストビジョン対応チームが活動を始めようとしている現在、あえてこれを提言とさせていただきます。

イベントアドバイザー報告

日本学練技術委員会 西脇 正展

1. はじめに

今回の駒ヶ根インカレは、ジェネシスマッピング社の開催する、クラブカップリレー大会に併催する形での開催として早い段階で決定していた。イベントアドバイザー候補も挙げようとしていた矢先に、技術委員長でもある私が請け負うことになったのには理由があった。第一に、イベントアドバイザーが全ての責任者となってしまう形での運営形式を望まれたために、過去のインカレ運営経緯を知っている者が望ましかったこと。第二に、演出面の強化などで今までとは異なる色合いのインカレを行おうとしており、その方針自体を承認出来る立場であることが望まれたこと。これが主な理由であった。

ユニバー合宿の運営などで時間のなかった立場ではあったが、諸事情を考慮して私が引き受けることとした。

2. 大会まで

上述の通り、イベントアドバイザーの負荷の少ない形での開催を考えられていることもあり、私が実際に現地に行ったのは本格調査前(要項2発表前)と、コースを確定させる時期(要項3発表前)の2回のみであった。その他はもっぱらメール上でのやり取りとなった。要項は実施規則に照会して必要な情報の確認を行ったが、特に不便は感じなかった。これも時代の流れと言うのかもしれない。

2回の現地訪問では、やるべき事を決めて、それらを全て終えて帰って来ることに重点を置いており、効率的に訪問出来たことが回数を少なく出来た理由である。

1度目の訪問時にチェックした項目は以下の通り。

■確認項目

- ・トレイン(全体)の様子確認
- ・競技に使用を予定しているエリアと回し方
- ・調査の進行状況
- ・会場予定地の様子確認及びレイアウト
- ・地図の縮尺の判断
- ・地図提供方法について(プリンタ印刷?)

■話し合って決める項目

- ・トレーニング・モデルイベントをどうするか
- ・宿泊・輸送予定先とそこからの交通
- ・参加費の予定
- ・当日タイムスケジュール
- ・クラブカップとの絡みに問題ないか?

ほとんどの項目を訪問した2日間で確認。トレイン全体を歩いて、現状の様子と、使えるエリア、地図の精度をチェックしておいた。

このベース知識を持っておくことで、その後は地図ファイルをメールでやり取りするだけでも、ある程度はイメージを持つことが出来た。

また、今回のインカレ最大の懸念点が縮尺だった。規則では1:15000だが、地図が非常に細かいため、1:10000で実施すべきだという主張があり、最終判断を迫られた。私の考えとしては積極的に1:10000にしないといけない要因がないのであれば、1:15000で実施すべきとの立場だったが、試走者の意見、実際に地図を印刷しての確認を経て、1:10000の方がbetterであるとの結論を出した。結論を出すために地図のある程度の完成を待たなければならず、参加する学生に迷惑をおかけしたことはお詫びしたいと思います。

1:10000 とすることとして、最終判断を公表した文面は以下の通り。

① 1/10,000 開催によるメリット

・急斜面や微地形部分がより見やすい形で表記される

② 1/15,000 開催によるメリット

・ロングにふさわしいコースを提供するにあたり、規則に則した縮尺である。

・地図をより持ちやすいサイズに収めることが出来る。

③ 1/10,000 での開催とする根拠は以下の通り。

・1/10,000 での表記の方が競技の上で好ましいエリアが多々存在するため

・コース自体は1/15,000 で判断し、ロングに相応しいコースの提供が可能と判断したため

・地図がME, WE 共に1/10,000 でもA4サイズに収まり、持ち易さの差異は生じないため

実際に走った人からの感想では、概ね1:10000で良かったとのことだった。ただ、私としては、ロングには1:15000で判断出来ないようなポストは置くべきではないとの意見を持っていたので、ポスト位置は1:15000で判別出来ることを基準としてもらった。使用地図が1:10000だったので、プランナーには多少なりともストレスになったかと思う。お手数をおかけしました。

3. 当日作業

大会前日の、モデルイベントの日の朝に現地入り。この日に実施したのは、全ポストのチェックと、会場レイアウトの最終確認。地図の最終チェック。当日のイベント全体の流れを最終確認。

この際に、ポスト位置の間違いが一箇所発見された。どれだけ十分な準備をしていたとしても、最終的にはチェックが必要だということと、目で見て確認することの必要性は再認識した。

ポスト確認@9月16日・・・41個確認

→1m～50cmの移動が5箇所程度。(石の東のはずが北東にあったもの、など)

→向きを変えて差し替えが3箇所程度。(障害物(岩・木)などに対して、平行に置いてあったポストを垂直向きに変更した→パンチしやすさのため)

→フラッグの結びが甘いポストを結びなおしが15箇所ほど。

クリティカルな問題にはならないが、より良い競技のための変更のつもり。それでも、撤収時にフラッグが落ちかけていた(落ちていた?)ポストがあったようだ。

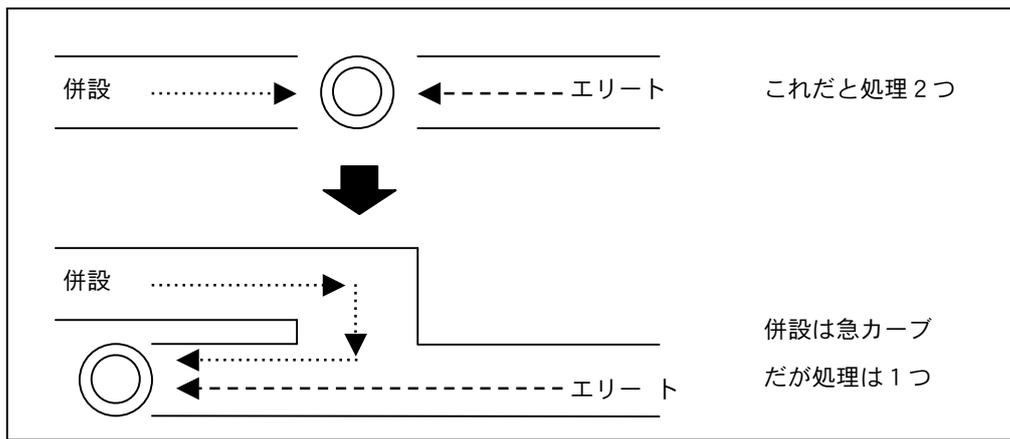
訴えた方はいらっしゃらなかったようですが、もしも落ちていたとしたら大変申し訳ありませんでした。

スタートの誘導を確認して、テープがずっと貼ってあるので分かりやすいのですが、小径を横切る箇所が切ってあったので、一瞬戸惑う。ここを抜ける?と勘違いする人がいるのではないかと確認してみたが、運営をお手伝いして頂き、初見のES関東の方が気にならなかったとおっしゃっていたので、そのままとし、もしも迷う人がいるようなら人を立ててもらおうことに。特に問題はなかったようだ。イベント・アドバイザー一人の判断が全てとなることもあるが、このような時には、意見を聞いて柔軟に対応することも必要な例であった。

モデルイベント自体は少し手を抜かれていた感が否めなかった。やるならちゃんとやる、やらないなら早めにやらないと決断する、ということが必要だった。この点は反省している。モデルイベントの開催自体は実施規則上では必須ではないので、運営の状況からの確な判断が必要である。

スプリントに参加する学生は少ないのではないかと当初の予想とは異なり、結構な学生が参加していた。ラスボゴールを結構思い切り走っていた。翌日がロングレースなので、あまり全力でスプリントを走るのはやめた方が良くはないかと。まあ、これは蛇足です。夕方からはインカレに向けての会場設営の手伝い。スペクテーターズコントロールがオンラインコントロールとなるのがこの際に決定。演出的には面白そうだったが、決定が遅れたのは実際に出るかの目処がこの時まで立たなかったため。判断としては問題ないと思われる。最終的には、この地点が半分という予想とは異なってしまったようだ。後半の方が登りが多い分、タイムは遅くなってしまった。もう少し正確な時間比率を出せると良かったかと思う。距離的にはほぼ半分だったと思うが。

前日準備で一番ネックだったのが併設のゴールレーンの仕組み。まっすぐ降りて来ると、エリートと向きがぶつかるので、2つ用意しないといけないが、なんとか1つにしたい。試行錯誤の結果、以下のようにレイアウトを若干変更。この決定にはフィニッシュの人員の意見も踏まえて決定。本来は大会前に決まっていると良かったのだが、ALLパート揃う機会が少なかったためにこの時点になってしまった。結果的には問題なかったが、要項発表前に決められるとベターであっただろう。(次ページの図参照)



夜にはMEとWEの地図を全て最終確認。

デフに関しては、昼のポスト確認と地図のデフから、1つ修正を指摘。(川と季節的水路)

大きな問題ではないので、公式掲示板にて発表と決定。

試走者用の地図を作成し、9時までには会場に帰還してもらえるように依頼。

大会当日は朝6時半、前日に見ていない会場回りのポストと、その他数個の確認。この日に11箇所を確認したので、合計52箇所。全ポストが63だったので、一部見ていないポストもありますが、併設分であることと、位置が簡単なために割愛。

ちなみに朝8時開場となっていたはずなのに、それ以前に既に会場にいる大学が何校かあって、気になった。運営者としては一々注意する程の余裕はないので、プログラムに書かれた指示は守るのが参加者の義務ですし、守りましょう。

この日の最終確認中に気になったのがラスポからの誘導で道に出るところでロープをまたぐ箇所。最後に疲れているだろうし、引っかかって転ぶのではないかと気になり、ロープに目印を付けるように依頼。テープを巻いてもらったが、不十分な気がしたため、「注」「意」「!」と3枚の紙を貼っておいた。実行委員長他の運営者は少数運営ということもあり、色々な対応にかかり切りであったので、一番動けそうな自分が作業。この辺りは臨機応変に対応する。

その後、会場にてMEとWEの共通ポストのデフが異なっているとの指摘を受ける。確認すると、確かに片方にだけ「→」が書いてある。これは書くのが正解であったが、印刷直前にデフに指摘をしたのがMEにだけ反映されており、WEに抜けてしまった模様。これも公式掲示板に発表。なお、これも一番手の空いていた自分が作成。こうしたミスはOCADで出力する限りは通常は起き得ないために見過ごしがちであるが、最終ファイルから全てのコースを出しているかは不明。地図・コースファイルが散乱しないように最終版と印刷者を十分確認すべきであろう。

試走者が帰還したので感想等を聞き、ポスト・コースには問題がない模様で一安心。タイムも想定に近かったため、これもまた一安心。レース開始後は、一回、山で伐採が始まったとの情報が入って慌てたが、現地を見に行ったら山川さんが交渉して今日と明日はやめてもらったとのことだったので一安心。林業の業者でなく、この辺りの間伐を請け負っている事業者の方だったので話が通り易くて助かった。青山高原では同様の際にスタートを遅らせるという対応がなされたが、今回は回避出来たことは幸いであった。

それ以外は特に大きな問題はなく終了。ウイニングタイムとしても、ME80分設定に対して82分、WE65分設定に対して64分と、まずまずの結果。表彰式も特に自分が関わらなくとも順調に終了。花束を1名にとどめていたため、ここ数年のような騒ぎにならず、表彰者が称えられる感じになっていた。賛否両論あったかと思いますが、落ち着いた表彰式であったのは確かだったかと思います。

ただし、エリートの表彰が余りにあっさり始まってあっさり終わってしまった印象でしたので、音楽をかけるとか、発表に一呼吸置くとか、エリートについてはもう少し演劇的な配慮があると良かったかもしれない。

※調査依頼：1件(バナの理由) 提訴：0件

4. 最後にイベント・アドバイザーの役割

今回のコース的は、面白いところ、面白くないところありますが、ともしればテレイン的にはミドルのようになりがちなところを、ロングの要素を交えたコースにはなっていたのではないかとはいっています。もちろん、翌日のリレー大会のための制約事項はありました。こうした制約が入るのは、共催大会としてインカレを開いてもらうという立場にいるからには仕方のないことです。その中でどこまでインカレらしきを出せるか。イベント・アドバイザーに出来ることは限られていますが、この調整をすることも一つの仕事であるでしょう。また今回、コースに関して、私は主張はしましたがコース自体に直接手を入れることや、細かい調整を行うことはしていません。もちろん、必要な部分の変更をお願いしましたし、試走タイムからウイニングを想定して、想定内に収めるための調整はしていますが、今までのイベント・アドバイザーがともしればコースの最終決定者のごとくに注文を出すというのとは形が異なっていたかと思います。そうした最小限のかかわりで実施していくことが今後求められて行くでしょうが、やはりケースバイケースです。今回は恵まれていたと感じています。今後の形態は分かりませんが、必要最小限の内容を実施すると今回のインカレのようになると思います。少し細かい報告をしましたが、次回以降の参考になれば幸いです。

選手権クラス成績表

ME - 9.2km ↑ 530m

順位	氏名	時間	学校名	学年
1	茂木 堯彦	1:22:14	東京大学	3
2	大西 康平	1:24:17	京都大学	4
3	西村 徳真	1:25:18	京都大学	3
4	藤沼 崇	1:27:18	新潟大学	4
5	津國 真敏	1:27:43	京都大学	4
6	杉山 尚徳	1:28:59	東北大学	3
7	山崎 貴彦	1:29:09	東京大学	4
8	小山 温史	1:29:16	東京工業大学	3
9	海老 成直	1:31:45	中央大学	3
10	上野 光	1:33:05	東北大学	3
11	岩城 徹	1:33:42	東北大学	4
12	吉岡 慶祐	1:36:06	名古屋大学	3
13	青山 弘毅	1:36:09	筑波大学	3
14	室田 知宏	1:36:32	京都大学	4
15	崎田 孝文	1:36:40	名古屋大学	2
16	入谷 健元	1:36:57	京都大学	3
17	柴本 浩児	1:37:05	東京工業大学	2
18	岡崎 智也	1:38:51	東北大学	2
19	眞壁 啓司	1:40:01	慶應義塾大学	4
20	早瀬 悠	1:40:56	茨城大学	3
21	渡辺 悠介	1:41:43	東北大学	4
22	丹羽 史尋	1:41:51	東京大学	4
23	青木 大輔	1:41:53	静岡大学	3
24	永井 亮	1:41:55	東北大学	4
25	高瀬 悠太	1:42:54	東京工業大学	4
26	日下 雅広	1:42:57	東北大学	2
27	稲垣 孝宣	1:43:01	京都大学	3
28	村上 巧	1:45:19	東京工業大学	3
29	寺村 大	1:45:49	名古屋大学	2
30	勝田 弘	1:45:55	東北大学	2
31	古山 泰也	1:46:00	東京大学	4
32	仲田 貴幸	1:46:10	関西大学	3
33	日浅 巧	1:47:30	大阪大学	2
34	舍利弗 祐介	1:47:31	金沢大学	3
34	後藤 陽一	1:47:31	東北大学	4
36	能勢 晃司	1:48:16	京都大学	4
37	高田 英司	1:48:33	東北大学	4
38	林 城仁	1:48:56	東京大学	2
39	齋藤 祐也	1:49:58	東北大学	4
40	藤本 裕介	1:50:00	新潟大学	4
41	林 泰斗	1:50:25	東北大学	3
42	土田 智宏	1:50:39	新潟大学	4
43	佐藤 啓史	1:51:09	東京大学	4
44	荒川 溪	1:51:19	東京大学	4
45	三上 智	1:53:14	神戸大学	4
46	飯田 遼一	1:56:09	東北大学	4
47	緑川 拓也	1:57:13	新潟大学	3
48	山田 貴洋	1:57:47	金沢大学	4
49	久米 航	1:58:14	東北大学	2
50	木村 隆二	1:58:48	新潟大学	2
51	谷 直樹	1:59:08	龍谷大学	4
52	森 広斗	2:00:01	名古屋大学	2
53	五嶋 宏通	2:05:41	京都大学	4
54	佐々木 崇	2:06:36	新潟大学	3
55	吉野 信	2:14:40	京都大学	4
56	川添 智由	2:14:57	筑波大学	3
57	宗形 俊	2:18:19	新潟大学	2
58	天笠 真吾	2:21:15	金沢大学	4
59	小林 正朋	2:21:29	名古屋大学	2
60	村上 一輝	2:28:18	東京工業大学	3
	松尾 真治	DISQ	山口大学	3
	小林 知彦	DISQ	名古屋大学	2
	井上 浩太郎	DISQ	山口大学	3

WE - 5.7km ↑ 270m

順位	氏名	時間	学校名	学年
1	米谷 法子	1:04:13	東京農工大学	4
2	中島 亜香音	1:08:12	静岡大学	4
3	幸村 和美	1:12:25	岩手大学	4
4	井手 恵理子	1:12:28	日本女子大学	3
5	白倉 由起	1:15:16	岩手大学	3
6	阿部 ゆかり	1:17:15	東北大学	2
7	関谷 麻里絵	1:18:45	京都大学	2
8	福原 むつみ	1:20:21	宮城学院女子大学	4
9	松永 真澄	1:21:39	日本女子大学	2
10	笠原 綾	1:23:15	日本女子大学	3
11	角田 明子	1:23:50	岩手県立大学	4
12	武村 法	1:25:38	茨城大学	4
13	小林 美幸	1:25:50	金沢大学	4
14	坂本 涼子	1:26:53	京都橘大学	4
14	岡田 瑛美	1:26:53	早稲田大学	4
16	鈿持 知美	1:26:57	相模女子大学	4
17	畑岡 祥子	1:35:01	茨城大学	2
18	稲葉 茜	1:36:22	筑波大学	3
19	豊田 安由美	1:37:08	筑波大学	3
20	山本 貴子	1:38:11	千葉大学	4
21	金野 愛子	1:39:04	宮城学院女子大学	3
22	青山 由希菜	1:39:25	椋山女学園大学	2
23	今井 優里	1:41:14	茨城大学	2
24	大類 景子	1:43:15	茨城大学	3
25	新妻 道	1:43:32	津田塾大学	2
26	柳川 理恵子	1:45:22	宮城学院女子大学	4
27	小島 裕実	1:47:24	立命館大学	4
28	柴田 早斗未	1:48:30	奈良女子大学	3
29	山崎 真希子	1:52:03	実践女子大学	4
30	市川 陽子	1:52:51	千葉大学	3
31	日名 有砂	1:55:31	津田塾大学	4
32	石井 沙也香	2:00:27	日本女子大学	3
33	黒澤 侑加	2:00:40	日本女子大学	4
34	白形 由貴	2:02:19	筑波大学	2
35	水野 利枝子	2:03:17	椋山女学園大学	3
36	北川 麻季子	2:13:45	立命館大学	3
37	菊池 由喜	2:18:02	宮城学院女子大学	4
38	阪井 美紀	2:24:44	茨城大学	3
39	水野 恵	2:26:34	奈良女子大学	4
	二宮 恵子	2:31:14	山口大学	3

選手権クラシック表 ME

名前	茂木亮彦	西村康平	西村健真	藤原崇	津浦真哉	杉山尚徳	小嶋貴彦	小山温史	海老成直	上野光	岩城徹	吉岡慶祐
所属	東芝											
記録	1:22:14	1:24:17	1:25:18	1:27:18	1:27:43	1:28:59	1:29:09	1:29:16	1:31:45	1:33:05	1:33:42	1:36:06
△-1	3:12	4:09	3:22	4:48	4:49	3:58	3:59	3:29	3:39	4:18	5:49	3:32
1-2	4:22	5:30	5:26	6:32	5:31	5:04	5:38	6:11	6:41	5:51	6:40	6:08
2-3	1:30	1:34	1:44	1:45	1:15	1:48	1:35	1:38	1:51	1:40	1:51	1:46
3-4	4:23	5:16	4:37	4:42	4:48	5:52	4:59	5:03	4:45	5:12	4:44	4:57
4-5	4:23	5:16	4:37	4:42	4:48	5:52	4:59	5:03	4:45	5:12	4:44	4:57
5-6	9:46	10:43	9:25	10:45	10:58	10:07	10:17	10:10	9:55	10:32	9:35	10:24
6-7	6:06	6:29	6:24	6:31	6:29	6:34	6:12	6:15	6:15	6:18	5:46	6:14
7-8	1:23	2:14	1:09	1:13	1:10	1:14	1:13	1:14	1:21	1:14	1:19	1:21
8-9	2:24	2:35	2:21	2:31	2:24	2:26	2:15	2:18	2:26	2:15	2:24	2:17
9-10	1:12	1:10	1:08	1:13	1:03	1:11	1:12	1:18	1:11	1:17	1:15	1:08
10-11	4:30	4:38	4:39	4:23	4:29	4:17	4:14	4:18	4:04	4:04	3:44	4:12
11-12	6:14	6:13	6:13	6:13	6:13	6:05	6:11	6:04	5:53	5:58	5:56	6:10
12-13	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51	5:51
13-14	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11	4:11
14-15	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16	3:16
15-16	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53	2:53
16-17	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00	3:00
17-18	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58	2:58
18-19	8:50	8:55	8:55	9:29	9:29	9:15	9:08	9:12	9:12	9:12	9:12	9:21
19-20	1:30	1:30	1:30	1:37	1:50	1:22	1:47	1:36	1:32	1:34	1:32	2:31
20-◎	0:53	0:51	0:51	0:56	1:50	1:43	0:57	0:57	0:52	0:52	0:48	0:52

名前	青山弘毅	室田知宏	崎田孝文	久谷健仁	柴本浩児	岡崎智也	真藤啓司	早瀬悠	渡辺悠介	丹羽明寿	青木大輔	永井亮
所属	東芝											
記録	1:36:09	1:36:32	1:36:40	1:36:57	1:37:05	1:38:51	1:40:01	1:40:56	1:41:43	1:41:51	1:41:53	1:41:55
△-1	3:44	4:26	3:42	4:24	3:46	5:10	3:52	3:26	5:37	4:32	4:41	4:09
1-2	6:42	5:04	6:04	6:10	6:43	8:20	7:39	5:05	6:00	6:26	6:20	6:44
2-3	2:09	1:46	2:06	2:07	2:07	2:07	2:07	2:01	2:06	2:17	2:00	2:34
3-4	4:34	5:05	4:52	5:17	5:39	4:51	5:19	5:04	5:43	6:20	5:40	5:52
4-5	4:58	4:50	4:51	4:51	4:51	4:51	4:51	4:51	4:51	4:51	4:51	4:51
5-6	10:55	12:17	11:23	10:49	11:06	11:50	10:42	10:49	12:47	11:56	10:31	11:41
6-7	7:13	6:36	6:16	6:40	6:46	7:27	7:30	8:02	7:05	7:24	6:50	7:20
7-8	1:20	1:16	1:16	1:16	1:16	1:12	1:13	1:10	1:27	1:29	1:42	1:39
8-9	3:04	3:03	2:37	2:36	2:36	3:42	3:07	2:32	3:03	3:46	2:45	3:19
9-10	1:53	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56	1:56
10-11	4:18	4:25	4:12	3:57	4:12	3:22	3:01	3:36	4:14	3:57	4:31	4:34
11-12	6:33	6:39	6:13	6:43	7:36	6:09	6:43	7:16	6:29	7:16	7:38	7:18
12-13	6:42	5:51	6:19	7:35	7:00	5:13	5:12	6:04	6:59	6:52	6:01	6:13
13-14	4:49	5:19	5:09	5:07	5:06	4:39	4:16	4:11	5:14	5:09	4:10	5:31
14-15	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47
15-16	3:30	3:48	3:44	3:28	3:28	3:19	3:24	3:43	4:05	3:52	3:43	3:43
16-17	3:40	4:29	3:48	3:48	4:18	4:51	3:58	4:27	3:30	3:55	3:55	3:58
17-18	3:29	3:46	3:46	3:38	3:14	3:04	3:13	3:03	3:13	3:13	3:23	3:25
18-19	10:47	10:17	8:42	10:17	10:17	10:17	10:17	10:17	10:17	10:17	10:17	10:17
19-20	1:52	1:47	1:49	1:52	1:59	1:57	1:57	1:50	1:52	1:56	1:52	1:56
20-◎	0:48	1:05	1:04	0:44	0:44	0:48	0:58	0:52	1:00	1:01	0:59	1:01

名前	高瀬悠太	日下雅也	福垣孝直	村上巧	勝田弘	山本泰也	仲田貴幸	日浅巧	後藤藤一	舍利弗祐介	能勢晃司	
所属	東芝											
記録	1:42:54	1:42:57	1:43:01	1:43:19	1:43:59	1:45:55	1:46:00	1:47:30	1:47:31	1:47:31	1:48:16	
△-1	4:19	4:35	3:58	4:39	3:51	5:06	4:15	5:34	5:11	5:06	4:15	4:24
1-2	7:25	5:29	6:20	6:56	7:42	8:28	7:48	8:06	8:12	8:12	6:39	7:38
2-3	2:08	2:03	2:04	2:04	2:03	2:00	2:01	1:53	1:51	1:48	1:57	1:43
3-4	5:39	4:51	5:03	5:28	5:48	5:33	5:28	6:30	6:02	5:45	5:31	5:20
4-5	3:49	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17	3:17
5-6	10:56	9:32	10:19	11:16	11:16	10:02	10:19	10:46	10:39	11:13	10:55	10:37
6-7	7:43	6:33	6:33	7:33	7:13	7:40	7:33	8:02	6:02	7:53	6:58	7:44
7-8	1:13	1:07	1:07	1:14	1:14	1:14	1:14	1:14	1:14	1:14	1:14	1:14
8-9	2:36	2:56	3:22	2:35	2:49	2:32	2:44	2:39	2:51	3:26	3:12	3:12
9-10	1:23	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24	1:24
10-11	4:11	3:22	3:17	3:52	4:09	3:53	4:16	4:09	4:01	3:20	4:16	3:52
11-12	6:43	5:57	5:57	6:56	8:30	7:30	7:32	8:02	7:32	8:27	7:44	8:27
12-13	8:20	6:24	7:36	12:39	10:13	9:39	9:39	10:33	6:45	7:47	10:52	7:44
13-14	5:42	4:18	5:08	5:04	5:29	5:44	5:16	5:05	6:12	5:28	6:42	6:17
14-15	4:28	3:44	3:43	3:43	3:43	3:43	3:43	3:43	3:43	3:43	3:43	3:43
15-16	4:58	3:23	3:10	3:10	3:10	3:10	3:10	3:10	3:10	3:10	3:10	3:10
16-17	5:24	3:55	4:13	4:13	4:13	4:13	4:13	4:13	4:13	4:13	4:13	4:13
17-18	3:29	3:04	3:15	3:33	3:44	3:40	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47	3:47
18-19	9:48	12:12	9:42	11:23	12:09	10:50	11:11	10:50	10:50	10:50	11:24	11:07
19-20	1:47	1:54	1:54	1:43	1:43	1:43	1:43	1:43	1:43	1:43	1:43	1:43
20-◎	1:01	0:50	0:51	1:11	1:11	0:51	0:51	1:16	1:04	1:01	0:57	1:17

選手権クラシック表 ME-2

名前	高田共司	林城仁	齋藤祐也	藤本裕介	林泰斗	土田智宏	佐藤啓史	荒川溪	三上智
新記録	1:48:33 37	1:48:56 38	1:49:58 39	1:50:00 40	1:50:25 41	1:50:39 42	1:51:09 43	1:51:19 44	1:53:14 45
△-1	4:22 29	5:08 47	6:26 57	5:31 52	4:25 31	3:45 11	4:09 20	4:08 19	4:19 26
1→2	7:22 36	5:40 11	6:24 22	8:13 47	6:52 30	6:03 14	5:12 5	8:24 49	8:41 51
2→3	2:10 50	2:10 50	2:16 54	2:13 53	2:01 31	1:33 3	2:36 60	1:43 8	1:47 15
3→4	6:04 44	5:47 39	6:31 52	5:10 20	5:38 33	5:11 21	7:49 60	5:43 36	6:04 44
4→5	3:58 22	4:19 35	3:55 19	4:07 39	4:02 37	3:47 14	3:13 2	7:23 59	5:02 45
5→6	11:46 45	10:22 13	10:46 23	10:46 23	10:42 20	10:41 18	10:51 31	10:47 26	11:23 42
6→7	6:59 21	13:15 58	13:59 59	7:44 38	7:14 27	7:20 28	6:06 5	8:07 44	7:52 40
7→8	1:23 25	1:32 35	1:11 7	1:38 38	2:28 61	1:40 11	1:30 33	1:55 54	1:51 52
8→9	2:47 35	4:11 61	2:43 31	3:05 50	2:25 14	2:33 20	2:09 2	2:18 9	2:47 35
9→10	1:24 53	1:01 2	1:23 51	1:10 15	1:09 13	1:17 37	1:11 18	1:10 15	1:17 37
10→11	4:59 55	4:20 37	4:47 51	4:05 26	3:57 20	4:21 38	19:56 63	3:50 16	4:06 27
11→12	7:23 37	11:12 57	10:21 33	8:19 46	7:28 38	6:56 25	10:42 55	5:46 2	11:43 58
12→13	8:07 44	8:07 44	8:31 47	7:45 31	6:01 16	7:45 31	5:59 16	7:43 40	7:19 32
13→14	4:36 14	5:16 31	5:25 36	6:11 46	5:05 23	4:56 21	4:27 12	4:36 14	5:20 35
14→15	4:37 34	4:03 21	4:05 22	5:07 45	4:19 24	4:06 24	3:58 18	5:05 44	5:08 46
15→16	4:43 54	3:00 14	3:09 21	3:16 24	4:29 53	3:32 34	2:49 7	7:49 60	3:31 32
16→17	3:59 18	3:43 12	4:16 30	4:47 53	5:15 41	4:56 37	3:28 4	4:41 30	5:43 50
17→18	3:57 21	3:28 14	3:28 14	4:06 28	3:27 24	3:11 20	2:46 5	4:00 19	3:57 21
18→19	14:41 55	10:37 27	10:26 23	11:27 41	12:33 46	10:39 28	9:46 14	12:48 49	11:45 42
19→20	2:23 51	1:40 13	1:55 32	1:53 28	2:20 47	2:12 42	1:53 25	2:04 10	2:38 54
20◎	0:55 21	0:48 3	0:47 3	0:54 18	0:55 21	0:54 18	0:59 31	1:11 56	1:01 37

名前	飯田遼一	緑川拓也	山田貴洋	久米航	木村隆二	谷直樹	森斗斗	五嶋宏通	佐々木崇
新記録	1:56:09 40	1:57:13 41	1:57:47 42	1:58:14 43	1:58:48 44	1:59:08 45	2:00:01 46	2:05:41 47	2:06:36 48
△-1	5:10 48	4:58 43	5:01 45	4:49 40	5:28 51	6:50 59	3:24 3	4:56 42	4:27 33
1→2	7:40 40	9:50 58	7:10 34	7:50 43	7:25 37	9:13 55	11:15 61	10:21 59	7:06 32
2→3	1:48 18	2:53 62	2:03 34	2:02 33	2:08 45	2:06 41	1:51 21	2:12 52	1:53 25
3→4	6:48 56	6:10 46	6:22 50	5:21 27	5:15 23	9:38 61	6:14 47	5:29 30	7:22 59
4→5	3:57 21	5:55 52	4:24 38	4:07 30	4:07 30	4:24 38	6:40 56	3:59 29	6:47 51
5→6	11:02 39	13:46 59	13:10 57	15:59 61	12:23 52	11:52 47	10:10 11	13:55 60	13:28 58
6→7	15:47 62	11:50 56	7:41 36	7:20 28	9:47 51	7:46 39	15:11 60	8:54 48	12:32 57
7→8	1:30 33	1:12 8	1:15 13	1:05 18	1:49 50	1:38 38	1:51 11	1:14 13	1:21 23
8→9	2:32 17	2:53 40	3:06 32	2:47 35	3:05 50	2:46 34	2:15 4	3:07 53	2:22 10
9→10	1:43 18	3:20 57	1:56 13	1:15 12	1:18 12	1:23 14	1:31 12	1:30 18	1:19 10
10→11	4:23 39	4:07 28	4:18 35	3:46 14	5:06 58	4:53 52	4:36 48	4:32 46	3:40 11
11→12	7:12 37	7:08 36	7:25 32	9:04 51	8:57 50	7:19 33	9:33 53	12:39 59	8:12 44
12→13	8:46 49	6:32 21	6:32 21	7:14 30	7:14 30	8:18 45	7:30 55	6:33 22	8:14 44
13→14	7:54 55	5:25 36	6:13 48	5:38 54	4:40 17	5:36 41	7:31 53	5:18 33	6:52 50
14→15	3:50 15	5:22 40	6:54 55	4:37 34	4:39 36	4:35 32	5:31 50	4:19 25	7:43 56
15→16	3:00 14	5:31 56	3:45 30	4:10 48	4:00 44	4:26 52	3:03 17	3:51 42	3:25 28
16→17	5:12 40	5:24 46	5:19 43	4:38 29	4:45 30	5:39 49	4:54 36	6:57 56	5:29 48
17→18	4:02 36	3:14 21	4:04 38	4:11 51	3:49 45	5:43 57	3:17 24	4:00 38	4:26 54
18→19	10:44 29	10:46 30	12:32 52	16:57 59	16:54 58	12:37 47	10:16 20	14:29 54	15:09 56
19→20	1:58 35	1:58 35	3:07 37	1:53 25	3:31 59	2:07 11	1:37 10	2:20 47	3:30 58
20◎	1:11 51	0:59 31	1:10 49	0:51 8	1:24 60	1:09 47	1:04 41	1:09 47	1:19 56

名前	吉野信	川添智由	宗形優	天笠真吾	小林正明	村上輝	井上浩太郎	小林知宏	松尾真治
新記録	2:14:40 55	2:14:57 56	2:18:19 57	2:21:15 58	2:21:29 59	2:28:18 60	2:28:18 60	DISQ	DISQ
△-1	4:35 45	4:21 28	4:29 61	8:45 62	10:11 63	6:27 58	5:37 54	3:42 8	7:47 60
1→2	8:57 53	9:00 54	7:07 61	8:12 47	9:36 51	16:36 63	7:38 58	6:16 49	12:04 61
2→3	2:52 61	2:18 55	2:09 47	1:59 28	2:34 59	2:29 58	2:22 57	1:47 15	4:27 63
3→4	6:42 55	6:15 48	7:02 58	6:39 54	6:38 53	6:59 57	33:40 63	5:28 28	12:31 62
4→5	4:38 44	3:35 8	5:46 51	8:04 60	6:20 55	17:18 63	12:02 61	4:36 43	12:29 62
5→6	12:41 54	10:45 22	10:48 28	10:32 15	11:25 44	13:09 56	16:58 62	10:47 26	22:06 63
6→7	9:33 50	7:36 33	7:29 31	8:26 49	8:18 45	8:00 42	11:24 55	7:03 23	15:28 61
7→8	1:50 51	2:06 57	1:29 39	1:59 55	2:36 60	1:47 49	1:15 35	1:46 48	4:48 62
8→9	2:33 20	2:15 4	3:04 48	2:22 10	2:56 42	2:57 44	5:21 62	2:38 27	7:42 63
9→10	1:13 24	1:18 42	1:12 33	1:09 13	1:24 53	1:30 58	1:59 62	1:27 56	2:11 63
10→11	6:07 60	4:53 52	5:00 56	4:28 43	5:24 59	4:25 41	4:53 52	6:45 61	7:08 62
11→12	13:37 62	6:55 34	8:24 47	12:48 60	10:57 56	6:50 53	9:39 54	13:34 61	DISQ
12→13	10:54 55	30:10 61	15:17 59	7:11 28	7:31 36	12:45 56	-	8:04 42	-
13→14	6:05 45	10:29 57	17:46 60	8:37 56	11:13 58	6:58 52	-	-	-
14→15	5:35 41	5:49 52	6:25 42	8:15 54	8:15 54	8:16 55	-	-	-
15→16	6:27 59	3:45 38	4:16 49	5:50 58	4:22 51	4:07 47	-	-	-
16→17	5:22 45	6:21 56	6:32 53	7:54 58	6:38 54	5:09 39	-	-	-
17→18	4:16 52	3:16 23	4:07 49	6:05 58	4:28 55	3:46 38	-	-	-
18→19	17:27 60	11:14 38	12:38 48	13:57 53	17:25 57	13:28 61	-	-	11:40 -
19→20	2:14 47	1:42 11	2:29 52	2:15 47	4:07 57	2:42 52	-	-	2:57 60
20◎	1:04 14	0:54 18	1:00 34	0:51 8	1:10 49	0:56 24	-	-	1:21 58

選手権クラシック表 WE

名前	米谷法子	中島亜香	幸村和美	井手忠理子	白倉由起	阿部ゆかり	関谷麻里絵	福原つづみ	松永貞澄	笠原綾
所属	東京農工大	静岡	岩手	日本女子	岩手	東北	京都	宮城学院女大	日本女子	日本女子
記録	1:04:13	1:08:12	1:12:25	1:12:28	1:15:16	1:17:15	1:18:45	1:20:21	1:21:39	1:23:15
△-1	3:21 1 98	4:11 9 118	4:10 8 118	4:10 8 118	4:07 6 117	3:45 3 106	4:15 10 120	4:43 18 133	4:04 5 115	4:04 5 115
1-2	1:32 2 97	1:55 8 121	1:43 3 108	1:46 4 110	1:49 6 114	2:18 12 145	2:38 22 166	1:59 11 125	3:48 33 239	2:36 21 164
2-3	4:53 1 001	6:06 5 023	5:31 3 000	5:36 4 003	5:19 2 016	6:25 10 029	6:35 9 054	6:14 6 035	8:31 28 156	6:40 14 041
3-4	8:54 1 98	8:27 2 964	8:11 10 120	8:27 3 006	8:25 2 005	8:54 11 028	5:47 5 112	6:08 7 119	6:25 12 125	6:14 11 121
4-5	9:27 1-021	10:53 13 330	10:42 4 037	10:42 4 037	10:42 4 037	10:42 4 037	10:42 4 037	10:42 4 037	10:42 4 037	10:42 4 037

名前	角田明子	武村法子	小林美幸	岡田瑛美	坂本涼子	鍋持知美	畑岡祥子	稲葉薫	豊田安由美	山本貴子
所属	岩手	茨城	茨城	早稲田	早稲田	岩手	茨城	茨城	茨城	茨城
記録	1:23:50	1:25:30	1:25:38	1:26:53	1:26:53	1:26:57	1:35:01	1:36:22	1:37:08	1:38:11
△-1	7:34 37 214	4:34 14 129	4:35 15 130	4:19 11 102	8:03 38 228	4:24 12 125	5:52 31 186	4:51 20 137	5:14 24 142	4:26 13 125
1-2	1:31 1 85	1:58 10 124	2:28 17 155	1:55 8 121	2:34 19 162	1:52 7 117	9:19 39 586	1:48 5 113	2:33 18 160	4:44 34 238
2-3	5:35 4 109	8:07 27 153	6:54 17 137	8:58 33 217	7:28 19 145	6:08 7 119	6:09 9 120	8:03 26 156	8:00 24 156	14:19 38 278
3-4	9:52 9 132	12:17 19 164	12:06 17 162	9:23 6 125	9:47 8 131	11:08 14 149	11:24 15 152	16:54 32 226	12:17 19 164	10:48 13 144
4-5	1:31 1 111	1:41 8 123	1:38 7 119	1:49 12 132	3:04 32 223	2:23 21 174	2:19 19 169	1:44 10 126	3:05 34 225	2:23 21 164
5-6	36:10 10 043	26:37 17 091	27:51 21 095	26:24 11 091	36:56 19 126	25:55 9 036	35:59 29 058	35:20 21 055	30:49 29 130	36:50 21 030
6-7	1:21 4 103	1:38 20 125	1:42 15 130	1:41 24 129	1:27 11 111	1:36 18 123	1:34 16 120	1:24 6 107	1:32 15 117	1:55 32 147
7-8	5:13 15 129	5:00 12 120	5:23 19 129	5:36 25 139	4:23 4 105	5:25 30 130	5:26 31 130	4:43 7 113	5:29 25 132	6:18 30 157
8-9	9:47 18 139	10:39 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145	10:37 14 145
9-10	7:43 16 124	8:13 20 132	9:05 25 146	7:46 17 125	6:25 3 103	9:23 36 151	7:35 14 122	7:27 12 120	10:00 33 161	9:00 24 148
10-11	51:30 8 038	36:01 18 032	36:03 14 120	51:30 8 038	36:01 18 032	36:01 18 032	36:01 18 032	36:01 18 032	36:01 18 032	36:01 18 032
11-12	4:32 3 112	5:44 10 142	7:25 25 184	6:05 12 121	4:52 4 121	7:23 33 183	6:02 11 150	11:42 38 290	6:52 19 170	6:42 16 146
12-13	14:11 10 126	13:28 12 122	14:00 15 126	13:45 14 124	16:48 25 162	15:44 22 142	13:31 13 122	14:50 19 134	15:25 21 139	15:04 20 136
13-14	2:50 24 130	2:27 14 120	2:26 8 114	2:26 8 114	2:26 8 114	2:26 8 114	2:26 8 114	2:26 8 114	2:26 8 114	2:26 8 114
14-◎	1:03 4 103	1:01 2 100	1:21 27 133	1:13 18 120	1:06 10 108	1:13 18 120	1:09 12 113	1:11 15 116	1:23 29 130	1:19 26 130

名前	金野愛子	青山由希菜	今井健児	大隈景子	新妻道	柳川理恵子	小島裕実	柴田早斗	山崎真希子	市川陽子
所属	宮城学院女大	静岡	茨城	茨城	岩手	岩手	岩手	岩手	茨城	茨城
記録	1:39:04	1:39:25	1:41:14	1:43:15	1:43:32	1:45:22	1:47:24	1:48:30	1:52:03	1:52:51
△-1	4:09 7 117	6:03 32 171	4:37 17 137	5:51 30 186	6:25 34 182	4:35 15 130	5:21 25 161	5:33 28 157	5:11 23 147	4:46 19 135
1-2	2:23 14 150	2:38 22 166	2:35 20 163	2:40 26 154	2:27 16 154	2:44 28 172	2:48 30 176	2:45 27 172	2:57 31 188	2:25 15 126
2-3	5:48 6 113	7:33 21 147	7:29 20 145	8:33 29 168	6:43 16 131	7:11 18 140	8:55 32 173	10:28 36 207	6:41 15 130	8:02 25 166
3-4	13:18 26 178	12:45 22 150	11:34 16 159	17:51 34 228	27:36 40 209	12:10 18 162	18:23 35 145	12:27 21 168	14:02 28 167	15:22 30 205
4-5	2:10 15 158	3:01 31 220	1:55 13 140	2:26 25 177	1:47 11 130	2:16 18 163	2:25 33 176	3:29 39 254	2:35 28 188	3:08 35 228
5-6	2:53 4 112	4:40 34 181	3:31 21 136	3:26 15 133	3:26 15 133	3:45 24 157	5:02 37 195	3:47 25 146	4:39 33 180	4:58 36 192
6-7	1:20 3 102	1:38 20 125	1:38 20 125	1:50 27 140	1:23 5 108	2:00 34 153	1:51 28 142	2:17 37 173	2:27 39 188	2:01 15 124
7-8	4:51 10 116	5:44 25 138	5:11 14 124	5:21 18 128	4:31 5 108	5:16 16 126	5:59 28 144	5:52 27 141	7:18 38 172	6:58 35 164
8-9	9:47 18 139	9:45 18 139	17:25 26 208	12:49 29 162	7:53 6 112	15:37 24 189	11:03 23 167	15:50 35 204	15:10 32 167	14:15 31 203
9-10	7:00 8 113	9:57 32 160	7:46 17 125	8:36 23 158	6:38 4 107	8:19 21 134	9:24 37 151	10:42 35 172	10:51 36 175	11:22 38 183
10-11	22:11 39 164	6:37 25 204	9:18 29 207	4:55 13 125	4:35 8 112	15:19 37 172	5:18 21 163	5:38 22 174	5:17 20 163	9:25 30 200
11-12	6:48 18 139	7:38 28 159	12:26 40 308	6:34 15 125	8:33 30 147	7:24 24 183	8:31 29 211	7:19 22 181	9:25 34 233	7:39 27 190
12-13	12:30 5 113	11:35 28 139	12:30 5 113	18:12 30 164	18:10 30 164	14:21 17 130	16:52 36 152	18:28 34 167	18:37 36 168	17:13 27 153
13-14	2:47 23 136	2:41 20 135	2:59 25 146	2:22 10 116	2:22 10 116	3:09 28 153	3:51 38 188	2:56 17 127	3:45 26 146	3:45 26 146
14-◎	1:09 12 113	1:10 14 115	1:13 18 120	1:12 17 119	1:03 4 103	1:16 23 125	1:41 37 166	1:17 25 126	1:27 31 143	1:32 35 151

学生併設クラシック成績表

MUL1 - 5.7km ↑ 250m

1	前田 肇	0:59:11	東京大学	3	17	柏 俊輔	1:13:12	東北大学	2
2	谷口 彰登	0:59:37	千葉大学	2	18	太田 貴大	1:13:56	東北大学	2
3	真名垣 友樹	0:59:55	北海道大学	4	19	田村 貴文	1:15:26	岩手大学	2
4	長瀬 裕樹	1:00:51	東京大学	4	20	高橋 良平	1:15:33	京都大学	2
5	大杉 祥二	1:02:28	筑波大学	3	21	石塚 脩之	1:15:58	東北大学	2
6	大井 恵介	1:02:30	東北大学	4	22	田中 翔太	1:16:25	早稲田大学	2
7	登坂 祥大	1:03:00	慶應義塾大学	4	23	小澤 健太郎	1:17:20	筑波大学	4
8	宮澤 直樹	1:03:13	東京農工大学	4	24	熊澤 貴弘	1:17:32	慶應義塾大学	2
9	中尾 吉男	1:03:56	東京大学	3	25	白井 佑真	1:18:50	静岡大学	3
10	比嘉 友紀	1:04:37	東京工業大学	3	26	羽生 和史	1:18:54	筑波大学	4
11	濱崎 嘉久	1:08:16	静岡大学	4	27	西崎 隼人	1:19:48	名古屋大学	4
12	石黒 文康	1:08:32	京都大学	2	28	加藤 峻一	1:21:42	中央大学	2
13	角森 哲博	1:09:35	岩手大学	3	29	吉田 知峻	1:22:34	東京大学	3
14	武藤 貴昭	1:09:50	東京工業大学	2	30	加藤 雄一	1:23:54	東京農工大学	2
15	阿部 敬寿	1:11:25	岩手大学	4	31	西久保 史明	1:25:04	東京大学	3
16	山本 秀洋	1:11:51	岩手大学	3	32	高橋 大輔	1:26:16	岩手大学	3
				3	33	丸藤 純	1:26:50	岩手大学	3

一般併設クラス成績表

M E C - 9.2km ↑ 530m

1	堀江 守弘	1:15:32	TeamSKI-0
2	高橋 雄哉	1:17:06	ときわ走林会
3	篠原 岳夫	1:19:22	渋谷で走る会
4	小林 康浩	1:26:29	大阪 OLC
5	猪飼 雅	1:26:43	金大 OLC
6	鎌田 健太郎	1:27:05	村松 OLC
7	番場 洋子	1:29:58	ぞんぴ〜ず
8	紺野 俊介	1:38:23	横浜 OLC クラブ
9	浜端 紀行	1:39:39	渋谷で走る会
10	皆川 美紀子	1:42:27	みちの会
11	山根 祥延	1:44:12	大阪 OLC
12	瀧川 英雄	1:44:18	OLC ふるはうす
13	加納 尚子	1:47:01	朱雀 0 K
14	川前 紀尚	1:47:45	OLC ふるはうす
15	大町 宏志	1:48:28	多摩 OLC
16	佐藤 嶺太	1:50:20	立命館大 OLA 0B
17	福田 雅秀	1:54:43	川越 OLC
18	榎本 保史	1:55:54	
19	玉木 圭介	1:56:35	大阪 OLC
20	桜井 郁也	1:57:40	OLC 東海
	井上 博人	2:01:04	入間市 OLC
	石井 龍男	2:05:27	千葉 OLK
	茅野 耕治	2:08:43	ワンダラーズ
	荒井 正敏	2:16:24	多摩 OLC
	早野 哲朗	2:16:38	京葉 OLC クラブ
	禰洲 拓	2:21:33	渋谷で走る会
	大家 哲朗	2:28:31	三河 OLC
	清水 善博	DISQ	山梨骨骨クラブ
	水嶋 孝久	DISQ	入間市 OLC
	山本 英勝	DISQ	渋谷で走る会
	鹿島田 浩二	DISQ	渋谷で走る会
	仲村 健一	DISQ	紅萌会

M A L - 5.7km ↑ 250m

1	小泉 成行	0:44:16	ときわ走林会
2	平井 均	0:49:42	静岡 OLC
3	櫻本 信一郎	0:51:00	京葉 OLC クラブ
4	天谷 翔吾	0:53:01	金大 OLC
5	小河原 成哲	0:53:22	丘の上
6	田崎 友康	0:54:01	Team 白樺
7	片山 裕典	0:55:27	おいぐす
8	大塚 友一	0:56:05	京葉 OLC クラブ
9	玉木 圭一	0:57:01	福井県立病院
10	三宅 文彦	0:57:45	OLC ルーバー
11	奥 文法	0:58:26	多摩 OLC
12	北川 知伸	0:58:48	朱雀 0 K
13	柴田 達真	0:59:25	Team SKI-0
14	齋藤 英之	1:02:12	川越 OLC
15	菅原 琢	1:02:19	多摩 OLC
16	小野 雅史	1:02:22	大阪 OLC
17	東口 晴一	1:03:11	Team 白樺
18	福田 大輔	1:04:55	東大 0 L K 24 期
19	永田 秀樹	1:05:25	LOVE'99
20	竹内 誠史	1:05:31	チーム新潟
21	小池 英希	1:07:09	丘の上
22	大林 俊彦	1:07:37	大阪 OLC
23	野口 和範	1:08:28	東大 0 L K 24 期
24	中村 洋士	1:12:12	FMC
25	兼田 僚太郎	1:12:17	Team 白樺
26	萩田博文	1:12:21	FMC
27	坪居 大介	1:13:46	つばめ会
28	奥山 景得	1:14:15	春日部 OLC
29	谷村 正樹	1:14:58	大阪 OLC
30	福原 正三	1:15:50	川越 OLC
31	内山 孝博	1:16:28	0 L P 兵庫
32	町井 瑞希	1:17:37	多摩 OLC
33	町井 稔	1:19:01	多摩 OLC
34	浦瀬 太郎	1:20:03	女子医 OLK
35	石沢 賢二	1:20:43	春日部 OLC
36	寺松 克訓	1:22:29	晴れの国 OLC
37	二木 誠	1:23:05	ソニー OLC
38	藤原 三郎	1:23:50	山梨骨骨クラブ
39	瀬口 洋治	1:24:11	OLC ルーバー
40	児玉 悠貴	1:25:29	OLC 東海
41	木村 耕平	1:26:47	入間市 OLC
42	小野 賢二	1:28:57	多摩 OLC
43	岩水 義治	1:29:00	大阪 OLC
44	分木 優	1:30:53	立命館大 0 L A 0 B
45	井口 良範	1:31:16	
46	市橋 国之	1:32:38	朱雀 0 K
47	近藤 康満	1:34:43	OLC 東海
48	樺沢 秀近	1:38:30	Team 白樺

49	山崎 貴幸	1:44:45	川越 OLC
50	馬場 智祥	1:48:27	OLC 東海
51	小山内 崇人	1:52:10	OLC 東海
	清水 潔	2:06:05	横浜 0 L クラブ
	田中 堅一郎	2:14:21	OLC 東海
	福西 展之	2:16:46	ROLA-0B
	坂井 翔太	3:06:26	OLC 東海
	安達 利雄	DISQ	TeamSKI-0

M A S - 4.7km ↑ 270m

1	上條 圭	0:44:51	方向音痴会
2	阪本 博	0:45:25	大阪 OLC
3	清水 尊司	0:46:44	広島 OLC
4	美藤 陽一	0:47:50	広島 OLC
5	山本 賀彦	0:48:04	0 L P 兵庫
6	源後 知行	0:48:50	ぞんぴ〜ず
7	田代 雅之	0:49:17	方向音痴会
8	吉村 年史	0:50:51	広島 OLC
9	後藤 崇	0:55:32	Love'99
10	沖浦 徹二	0:56:27	大阪 OLC
11	小山 清	0:57:27	京葉 OLC クラブ
12	宮崎 敦司	0:57:41	
13	中島 克行	0:58:58	静岡 OLC
14	Kaj Saارينen	1:00:13	渋谷で走る会
15	鴻野 和之	1:02:37	筑波大 0 B 愛好会
16	花田 拓紀	1:03:19	筑波大 0B
17	和泉澤 誠	1:03:39	方向音痴会
18	梅田 和良	1:05:15	
19	小野田 敦	1:05:43	京都 OLC
20	丸山 則和	1:06:08	チーム新潟
21	小澤 啓	1:07:46	方向音痴会
22	下山 敬史	1:07:48	横浜 0 L クラブ
23	西沢 敦	1:09:02	東京 OLC クラブ
24	五十嵐 則仁	1:11:56	横浜 0 L クラブ
25	森川 正巳	1:14:08	外濠之会
26	須貝 義和	1:14:09	京都 OLC
27	穴戸 祐司	1:15:08	ソニー OLC
28	大野 聡生	1:16:06	OLC 東海
29	白川 努	1:17:44	KOLA
30	長友 武司	1:21:57	千葉 OLK
31	田中 徹	1:25:46	京葉 OLC クラブ
32	倉田 泰之	1:26:13	松阪 OLC
33	中原 信一	1:27:47	大阪 OLC
代	小河原玲	1:28:15	丘の上
34	山際 正俊	1:28:16	方向音痴会
35	塚田 元朗	1:31:02	京都 OLC
36	東野 基生	1:31:41	チームスキー 0
37	大原 卓	1:32:49	晴れの国 OLC
38	平井 皓基	1:33:19	OLC 東海
39	石川 昌	1:36:51	サン・スーシ
40	須貝 駿貴	1:43:03	京都 OLC
41	渡辺 幸	1:43:37	チームスキー 0
42	小山 達之	1:45:45	千葉 OLK
43	山中 晴揮	1:48:07	OLC 東海
44	深田 恒	1:57:25	OLC 東海
	武藤 康史	2:01:00	OLC 東海
	遠藤 光歩	2:13:56	東京 OLC クラブ
	福原 和生	2:31:51	川越 OLC
	森川 敏治	2:35:41	OLC 東海
	村上 宗一郎	2:49:25	OLC 東海
	宮西 優太郎	2:59:02	OLC 東海
	遠藤 豪志	3:05:29	東京 OLC クラブ
	鈴木 準直	DISQ	京葉 OLC クラブ
	齋藤 和助	DISQ	京葉 OLC クラブ
	藤島 由宇	DISQ	チーム新潟
	坂本 忠	DISQ	大阪 OLC
	吉川 祐紀	DISQ	OLC 東海
	相川 裕太	DISQ	OLC 東海
	箱山 昂汰	DISQ	OLC 東海

M 50 - 4.7km ↑ 270m

1	海老沢 正	0:50:58	入間市 OLC
2	伊藤 哲夫	0:55:53	松阪 OLC
3	大塚 校市	0:56:32	千葉 OLK
4	愛場 庸雅	1:02:48	OLC レオ
5	平 雅夫	1:06:59	多摩 OLC
6	天明 英之	1:09:34	東京 OLC クラブ
7	久保田 優	1:10:11	入間市 OLC
8	田島 三郎	1:12:11	入間市 OLC
9	澤地 實	1:12:37	大阪 OLC
10	辻村 修	1:13:06	コンターズ
11	高橋 厚	1:14:13	多摩 OLC
12	山西 一徳	1:15:45	入間市 OLC

13	山崎 直一	1:17:13	入間市 OLC
14	笠井 泰自	1:21:15	大阪 OLC
15	田中 博	1:21:30	入間市 OLC
16	明石 五郎	1:22:03	春日部 OLC
17	中安 正弘	1:23:08	大阪 OLC
18	久保井 輝政	1:25:09	サン・スーシ
19	磯部 貞夫	1:26:47	OLP 兵庫
20	今井 信親	1:27:37	ワンダラーズ
21	高橋 義広	1:29:45	京葉 OL クラブ
22	伊藤 清	1:31:13	ワンダラーズ
23	山縣 正昭	1:32:42	晴れの国 OLC
24	鈴木 栄一	1:33:01	千葉 OLC
25	海野 忠秋	1:42:42	川越 OLC
26	小嶋 裕	1:44:09	大阪 OLC
27	坂田 年男	1:48:22	川越 OLC
	梶房 修身	2:06:41	晴れの国 OLC
	菅家 征史	2:11:47	川越 OLC
	清水 栄一	2:22:13	東近グルマ
	濱上 進	DISQ	晴れの国 OLC

W E C - 5.7km ↑ 270m			
1	藤生 考志	1:03:29	東京 O L クラブ
2	酒井 佳子	1:08:26	
3	深澤 博子	1:11:25	入間市 OLC
4	森澤 寿里	1:23:04	ぞんび〜ず
5	松本 知佐子	1:27:08	朱雀 O K
6	石山 佳代子	1:41:14	横浜 O L クラブ
7	築山 絢	1:46:58	
8	波多野 夏子	1:47:27	渋谷で走る会
	吉田 歩美	2:18:12	立命館大 OLA OB
	高野 美春	DISQ	東京 O L クラブ

W A L - 4.5km ↑ 250m			
1	峯村 綾香	0:59:15	ぞんび〜ず
2	石川 裕理	1:06:08	横浜 O L クラブ
3	竹内 千晶	1:09:33	チーム新潟
4	榊原 明美	1:14:58	
5	浦瀬 香子	1:15:04	女子医 OLC
	岩瀬 可奈	2:03:38	OLC ルーバー

W A S - 3.5km ↑ 190m			
1	志村 直子	0:43:58	渋谷で走る会
2	金子 しのぶ	0:49:02	方向音痴会
3	丸山 由美子	1:00:37	チーム新潟
4	渡辺 加与美	1:03:08	入間市 OLC
5	岩水 加代子	1:11:40	大阪 OLC
6	榎本 清美	1:34:11	川越 OLC
7	齋藤 まどか	1:44:43	川越 OLC

W 50 - 3.5km ↑ 190m			
1	海野 とみ子	1:08:51	川越 OLC
2	植松 裕子	1:23:38	東近グルマ
	田中 洋子	2:44:04	入間市 OLC

O A L - 5.7km ↑ 240m			
1	徳江勇樹	1:08:35	多摩 O L
2	小坂 猛	1:08:42	東京 O L クラブ
3	和田 雄一郎	1:09:24	つばめ会
4	近藤 友洋	1:11:08	東工大 OLT
5	安藤 誠	1:15:02	
6	鈴木 孝司	1:16:04	多摩 O L
7	宮澤 良英	1:27:04	FMC
8	谷正春	1:37:08	広島 OLC
	清水 恭平	2:10:48	くどうたくや

O A M - 4.5km ↑ 250m			
1	小林 力	0:54:59	不由径
2	杉山 隆司	0:57:02	サンスーシ
3	伊東 博司	1:03:10	広島 OLC
4	鈴木 博実	1:07:29	多摩 O L
5	宮田 賢太郎	1:21:24	京葉 O L クラブ
6	大里 真理子	1:23:16	Arc-C
7	石川 清一	1:26:00	みやこ OLC
8	佐藤 政明	1:28:25	東近グルマ
9	前田 春正	1:34:18	KOLA
	今井 栄	2:15:12	ワンダラーズ
	前田 裕太	DISQ	多摩 O L

O A S - 3.5km ↑ 190m			
1	小笠原 揚太郎	0:41:56	東京 O L クラブ
2	若林 さゆり	0:57:38	くどうたくや
3	井上 幹男	1:16:45	東京 O L クラブ
4	河野 雅弘	1:54:41	大阪大学 OLC
	宮澤 礼子	DISQ	FMC

「苦渋の決断」と説明した。その上で「委員会でござるまな意見が出たが、より良い教育環境を考え、長い議論を重ねてこの結論に至った」と話した。

「三日間大会」
駒ヶ根で開始
オリエンテーリング

オリエンテーリングの四つの全国大会を開催する「駒ヶ根高原オリエンテーリング三日間大会」が十六日、駒ヶ根市の駒ヶ根高原家族旅行村を主会場として始まった。写真

初日は比較的短いコースで競うスプリントレースが行われ、約四百人が出場した。約三百名四方の中に設けられたチェックポイントには、男子が十八カ所、女子が二十カ所。地図を頼りにポイントを探して走り回り、タイムを競った。

東京都渋谷区の大学生坂田周哉さん(19)は下草が少なく、走りやすいコースでしたと汗をぬぐっていた。

十七日は大学生が対象の「日本学生オリエンテーリング選手権大会」などが行われる。最終日の十八日は約千人が出場するクラブカップブリーオリエンテーリング大会がある。



2006年9月17日発行信濃毎日新聞より引用

地元の人も楽しんで

自由参加で駒ヶ根高原大会

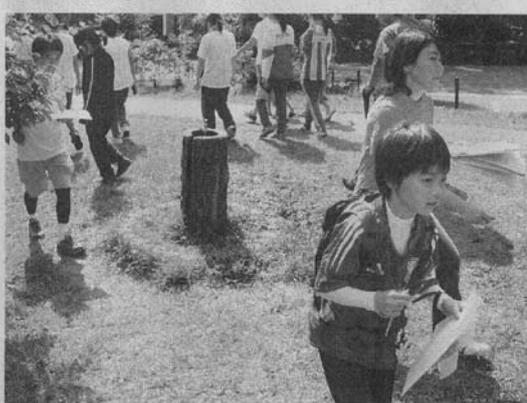
オリエンテーリングのクラブ

オリエンテーリングのクラブカップブリー大会(ジュニア)は、マッピング主催、駒ヶ根市共催。十六日から十八日までの三日間、同市駒ヶ根高原家族旅行村で開いている。二日目の十七日には自由参加の駒ヶ根高原大会が行われ、市民らが気兼ねなく楽しんだ。(中村利幸)

大会は一般を対象にし、大学生個人戦のインカレのスプリントが十六日、ロングが十七日に行われ、七人一組となつてリレー形式で競うクラブカップブリーを十八日に行う。三日間にわたって三百人の申し込みがあつた。

初日のスプリントに参加した東京の会社員男性は、二日目親子で駒ヶ根高原大会にも参加。「今、回恩子が初めて一人で取り組めます」と頼もしくおもうと企画。二時だった。

ゴールを目指してスタートを切る駒ヶ根高原大会参加者



2006年9月18日発行長野日報より引用

優勝者の言葉

女子選手権者 米谷法子

インカレロングは怒涛の8月(ユニバ、院試など)後のレースだったので、精神的・肉体的(直前は練習できていなかったものの)に余裕を持って臨めたレースだったと思います。もしも一つや二つミスしても焦らず、落ち着いて最後まで走りきれば必ず勝てる！と自己暗示をかけて走ったことが功を奏したのかもしれませんが。

最初から優勝を意識していたので、やはり気持ちが高ぶっておりこういう精神状態のときは手続きが雑になり、前半つぼりやすいことを自覚していたので、ポスト周りでの正置はもちろんのこと、ポストの番号確認(苦い経験があったので2回はやりました・・・)ルートの単純化などを意識して行いました。

そのためか、中間までのタイムが早い、ということアナウンスで聞いたときにはポスト飛ばしてしまったのか！？と不安になり、ピジュアルを過ぎてからポストを1から順に確認したり。。

後半はやはりバテてしまい、自分でもスピード・集中力が落ちているなど感じました。ただ、ラスポ近くになると、農工大のみんなが応援してくれている声が聞こえて、すごくうれしくて、最後のもうひと頑張りができたことを覚えています。レースは全般的に大きなミスはなく無難にまとめ、それなりに満足であり、落ち着いてレースができたことが優勝につながったのだと思っています。

最後になりますが、ユニバ出場やインカレロングなどの際に、様々な方からご支援・ご声援いただき、本当にありがとうございました。

優勝者の言葉

男子選手権者 茂木堯彦

インカレロングではいい結果を残せたと思っています。

その時の記録からいくつか振り返ってみたいと思います。

[準備状況]

インカレロングの準備を考える時期にちょうどユニバー代表として海外遠征に行くことが決まりました。それ以来、ユニバーのための準備を利用しインカレへの準備を行ってきました。ユニバーでの出場種目としてロングを希望したのもインカレ準備として役立つと考えたからです。

しかし東大大会準備、遠征のための学業との兼ね合いに追われトレーニングのモチベーションもなかなか保ってられませんでした。そんな中で行われたユニバー合宿からは非常に大きな影響を受けました。NTと合同で行われることで毎回充実した内容で、体力的にも当時の自分には非常にきつかったと記憶しています。体力的なものだけでなく、メンバーが発するユニバー代表としての自覚・意識に多くのことを学びました。

無事遠征が終わり日本に帰ってきて、本当に自分が速いのか、インカレロングで勝てるのかと言う不安も少しはありました。国内での長いレースを行うチャンスがなかなか無い中、早大0Cと京大0LCとの合同合宿のレースに参加することができました。有力選手と比較できるこのレースでいい結果を残すことができ、自分自身への大きな自信を得ることができました。しかし自信は付いたものの、インカレロングが近づくにつれなんとなくプレッシャーを感じることも増えました。

ユニバー代表として遠征に行った以上、ふがいない結果を見せることはできないと。また、前年度のインカレロングでは途中で大きなミスをしていましたし、たいした準備はできていないという気持ちもありました。

スタートリストが公開され、ラストスタートということが分かったときは興奮しました。まるで漫画のように最後に優勝を決める。自分に用意された最高の舞台ではないかと思いました(笑)。

[当時の感想]

やはりインカレロングに対しての準備はたいしたことが出来ていたとは思えません。レース後には、あんな状態で勝てたということにある種自分に対しての余裕を感じる一方、春インカレのために準備してくる周りの選手達に追いつく努力を、これから春までしていけるだろうかという不安もありました。

[現在そして春インカレに向けて]

現在は次の矢板インカレに向けて地道にトレーニング中です。

十分かと言われるはまだ出来ると思うところがありますが、自分で納得する程度にやっております。今回初めて、自分が追われる側にいるという意識があります。同期も速くなって来ている。4年生は最後のインカレに気合を入れている。

自分はどこまで優勝争いに食い込めるだろうか？

いつまでも挑戦者としてインカレに臨みたいと考えています。

今年も無事インカレが開催されることを感謝します。それでは。

コースプランナー解説

山川 克則

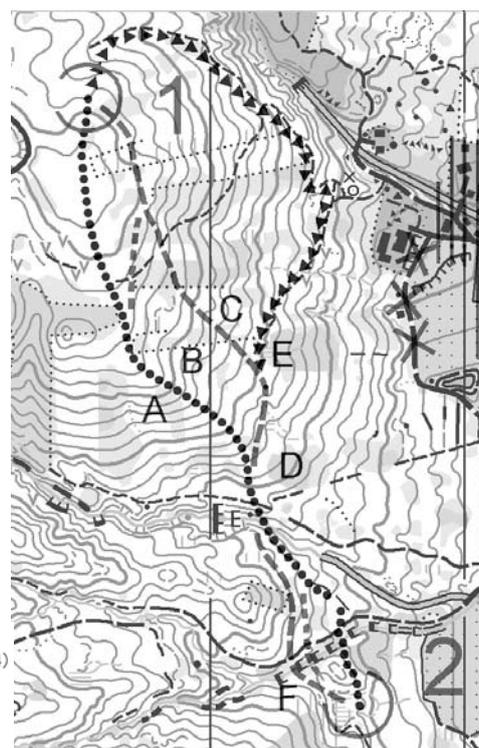
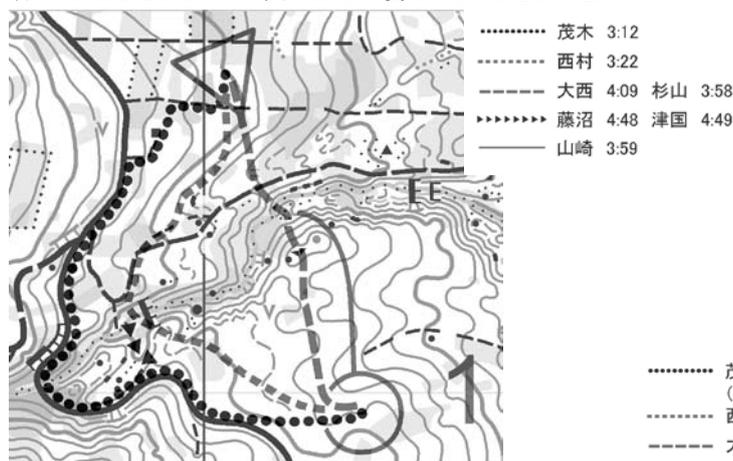
さて、インカレの地図を作り続けて年を経ること27年（第3回、現役の大学2年生の時から関わり続けている）の小生であるが、インカレのプランナーなるものをやったことはまだ一度もない。その間、わが国の0-MAPの進化と、自分の人生がシンクロナイズしているのであるが、特に最近の画期的な地図の精度や見やすさの進化に対して、提供されるコースが地図の精度に十分には応えきれていないのではないか、と思うこともままあり、一度自分で道筋をきちんとつかなきゃいけないな、と考えていた。特に、ロング種目においては、適正なロングのコースが提供されることはわが国ではあまりない。それは今までの通常の地図でありがちだった地図と現地を対応して正しくない情報は捨て、正しい情報を選び出して処理することではなく、（全部正しい）地図から、自分にとって必要な情報のみを的確に取捨選択し、不必要な情報はばっさばっさと切り捨てて、より人より速く走ることを目的としたコースを提供するべきだと日頃考えていた。今回はクラブカップなどの複数日大会と併催ということで、全体をトータルでコーディネートしなければならない立場という点から、インカレのプランナーをもさせていただく機会を得ることとなりました。ロングはロングらしく、リレーはリレーらしく、狭いテレインをとことんまで有効活用することを念頭に大会を設計していきました。

ME

△→1

上位は大きく分けて3通りのルートにわかれた。

結局、茂木の林道まわりが、少し速いことになったが、大きな堰の上、小径のところで川を渡るのもそれほど悪くない。急斜面ルートは、山崎の登り口よりも、斜面が少しでも緩い大西・杉山ルートを選択して欲しいところであるが、ラップはあまり変わらなかったようだ。



1→2

下り基調のこのレグでは大きく差がついた。いかにも難しそうに見えるこういうレグをいかに簡単に処理するか、大胆なプランで走るかで、大きくタイムに影響してくる。その見本市のような結果になった。藤沼のはミスルートだが、他はルート選択はあまり関係がない。茂木は2位のラップに40秒の差をつける圧勝。ここですでに、優勝へのストーリーは始まってしまっていたのだ。最初のうちはだいたいこの辺を走っているで十分。その後、Aの尾根（その手前に明瞭な植生界の角）、Bの沢、もしくはCの沢など大きな地形を捉えればOK、DかEのヤブにぶつかるように速く降りて行くでも良い。次は小川のどこを渡るかだが、これも堰の上部あたりを渡れば実はどこでも良いのだ。とにかく、こういうのを速くさっさと処理する、下りなのでスピードを落とさない、ということができれば良い。

2→5

2→3を慎重にこなせば、あとは淡々と行けば良い。杉山の3→4は1分以上の遅れを取るルートになってしまった。4は出戻りにならないような位置を工夫したおかげで、殆どの選手が5に向けて出戻らず直進のルートを選択した。茂木の手前のミスは、上の道と下の道を勘違いして、5があるつもりで探し回ったとのことである。

5→6

なんだよ、長い道走りかよ～、と思った選手も多かったでしょうが、実は別のベストルートがあったのです。試走の段階で、高速道路脇のルートの方が30秒ほど速いことを検証し終え、あとはこのルートがきちんと読みきれるか、皆さんが通ったルートの方を、一見見えやすくするために、始点と終点の位置を効果的になるように調整しました。その結果、必然的に逆回路で3→4→5→6がクロスとなり、4の位置が出戻りにならないような位置になり、3が5→6のレグ線をジャマしない位置になっていったのです。道走り区間で、分岐を何回もチェックすると、野球場や高速道路など大きな施設脇を走るでは、手続きの単純化の量にかなりの差が出ます。それにこちらのほうが舗装道路を走る割合が多く、20mの緩い登りもあるし・・・と読みきって欲しかったところですが、ルートを集めた上位の人の中では残念

ながら、誰一人このルートを通ってくれませんでした。小山のルートはこの位置まで来てしまえば、どちらでも変わりません。最初に小径まで降りてきたところでその小径を行かずに、もう一本下の小径まで行くべきだ、とここで判断してほしかったところです。ミドルでは道走り区間は単なるつなぎになることも多いですが、ロングでは、そこにも一味込める、それを実現しました。尚、高速道路脇ルートの最後のラフオープンの手前のハッチも道路沿いだけは抜けていることがきちんと判るように地図表現には気を使いました。

6→8(ラップは6→7のもの)

緩斜面の斜め直進のレグで、途中現在位置に自信をもてない場面がある。ルートを見る通りなかなかうまく直進はできないものである。ここでは藤沼が一番ぶれていない。いずれにしろ確実な地点でアジャストして、大きくはそらしていないことが上位の選手に共通する。

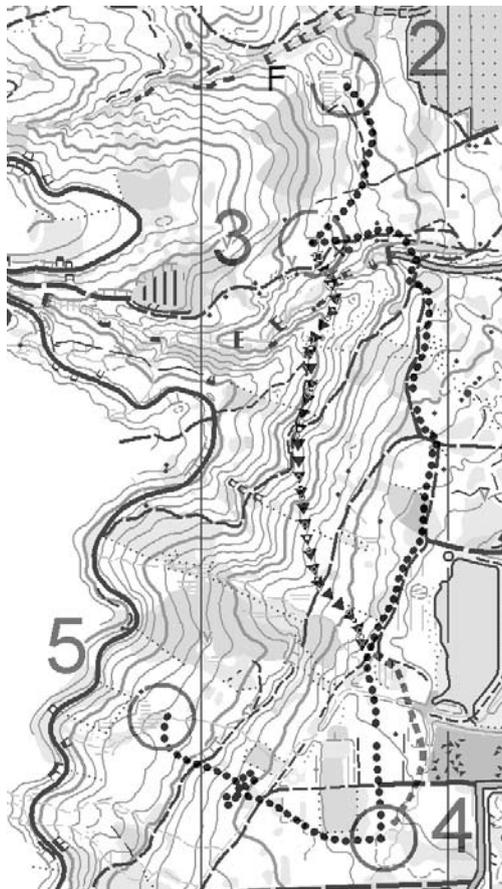
8は、2車線道路がある程度交通量があるため、出る場所を固定して、安全の為監視員を置きたいと運営の要請があって、設置したもので、コンパスで方向だけ確認して直進するだけなのだが、ここでも、大西と杉山が大きくぶれている。

8→11

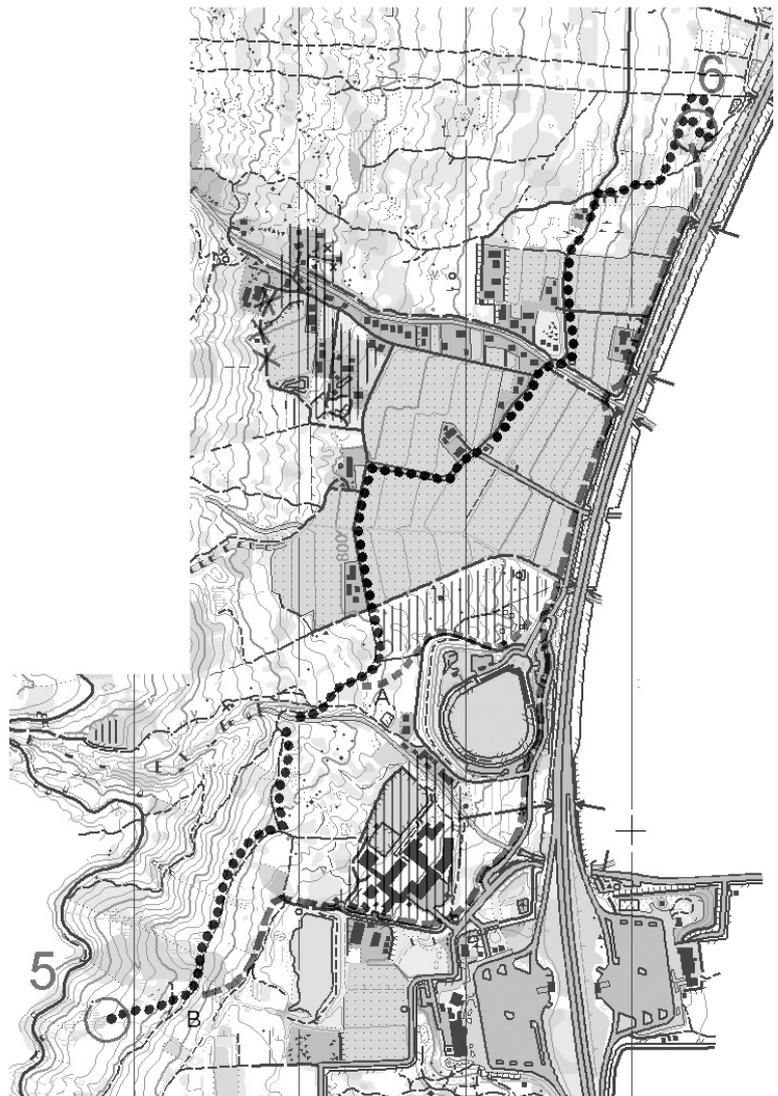
今回はロングでは、2周回させて一旦会場に現れ、応援や給水を受け易いようなレイアウトを最初から考えていた。この区間はレイアウトの工夫から生まれたものである。見られている部分で、登りをこなさせるとレースの演出上も効果的である。そして、後半はよりロングらしい厳しさを増すレグ用意していくのである。

11→12

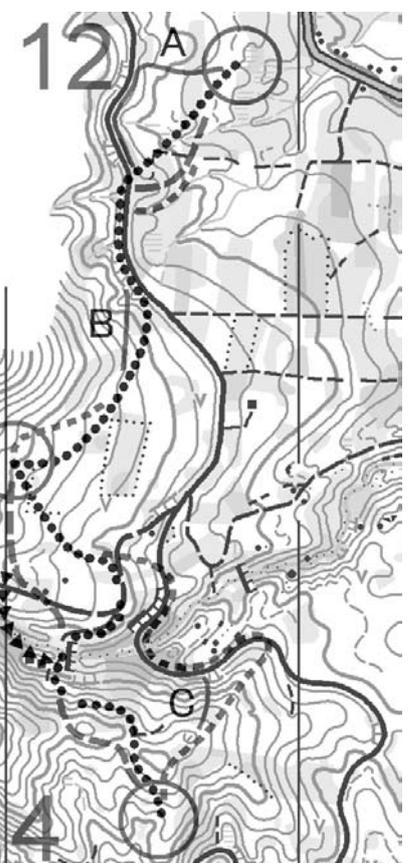
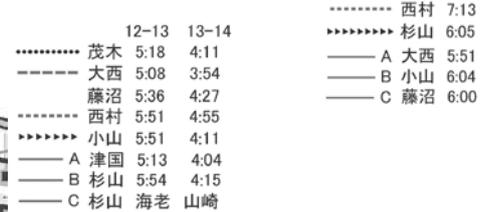
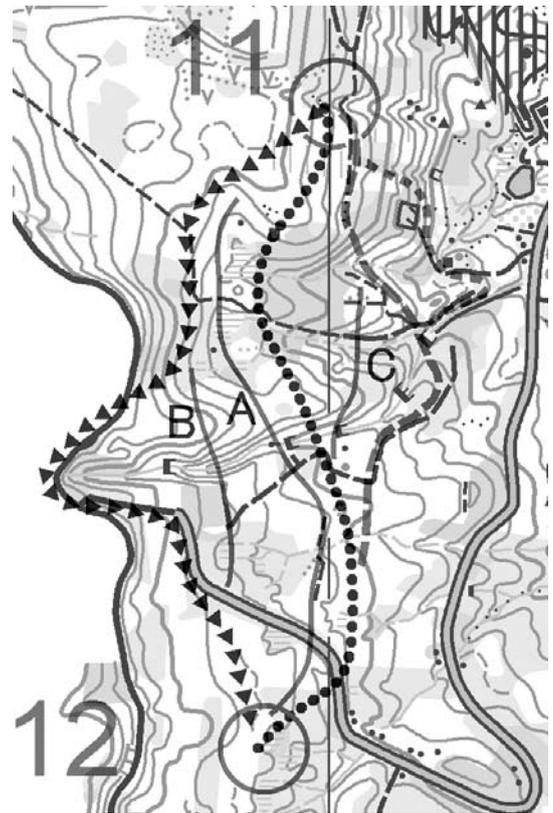
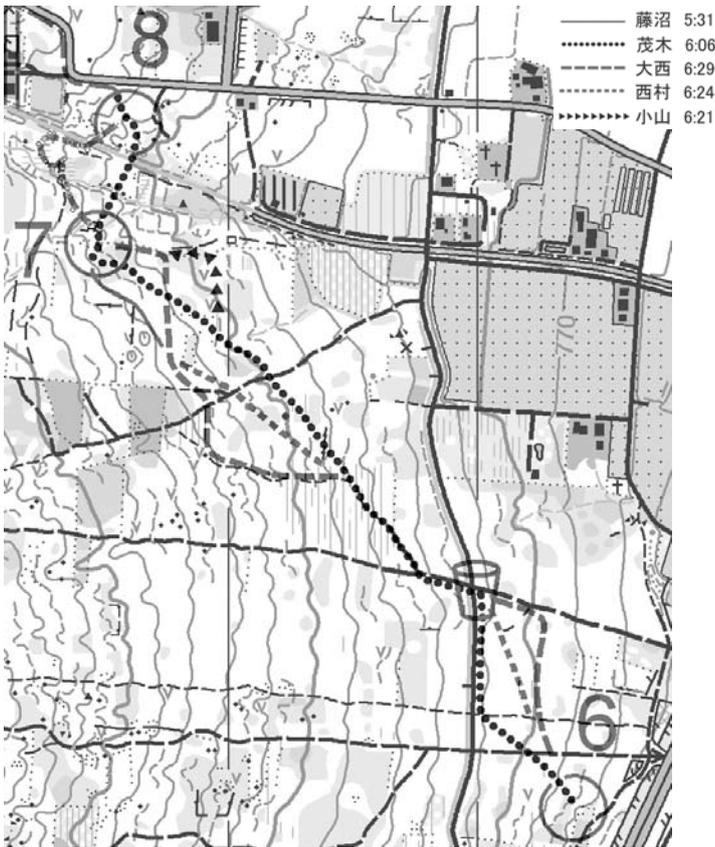
後半の最初のメインレグである。こちらの意図どおりに、きれいに上位のルートがごとごとく分かれた。ここは、沢の深い部分を切ると、滑り易いかなりの急斜面に悩まされることになるが、結局どれが正解というものでもなく、各々が自分のオリエンテーリングのタイプによって、どういうルートを選択しても良い、というつもりであった。下ルートは、スタートへの誘導路まで出る者がいてもやむなし、のつもりであったが、さすがに上位にそこまで大回りする者はいなかった。



- 茂木
- 津国
- ▶▶▶▶▶ 杉山



- 茂木
- 小山
- 主催者想定
のベストルート



12 → 14

後半のフィジカル面の勝負どころで、日頃きちんとトレーニングして体力的な準備をしていたかどうかを問うたレッグ結果は、ルート面でも細かな違いがタイム差となっている。大西は中間スペクターズで6位だったのを、この2区間でトップのラップを取り、一気に2位に駆け上がっている。疲れているときにこそ、細かな失敗ルートを取らないようにしているところが勝負強いところだ。茂木は14への急斜面の登り方で小さなルートミス（このルートは藤沼も）、Bの杉山は急な部分から登り始めてタイムロス、13-14の西村もタイムロスの大きいルートである。（このミスルートでも、さらに激しく急なところを登ったCのルートはさらに遅くなる、この辺は気がせいってしまったのだろうか？）正解ルートでは、急斜面の最初に小径が斜面と直角方向に描かれているが、こういう小径は斜面の他の部分より登り易いんだ、と地図表現から予想できただろうか？ 実際には山林保守用に間伐材をはめ込んだ階段になっている小径で、体力が充実していれば、結構速く登りきることができる。ある程度経験を積まないといけないが、この辺の想像力もオリエンテーリングの技術の一つである。

14 → 18

14までの体力的にきつい区間、そして18からの最後の勝負どころのロングレグ、その間を疲れてきた頃に要求する細かいナビゲーション能力という、これも決まり事のようなレグである。茂木は登りのレグではもたついているが、14 → 15、16 → 17という下りの技術要素の高いレグでトップラップを取り、ここで優勝を磐石なものにしている。まず14 → 15であるが、大西が折角14まで追上げたのに、この区間で1分以上遅れている、これも前段で述べたように、地図表現からの想像力を働かせて欲しい部分だ。もともと繋がっていた（ように見える）小径が、伐採でヤブになり道の跡が川になった、その部分は他より通り易いに違いない（可能度Cは20～60%と幅広い）と読み切るべきところだ。そこ以外の部分でヤブ漕ぎをした大西は1分のロスをしてしまったわけだ。西村や小山のルートも走り易い部分ばかりで悪くはないが、距離の面で少し遅くなることは試走の段階で確かめられていた。どちらか迷うように設定しておこう、としたのだが、ここはほぼこちらの意図どおりのレース展開となった。

15 → 16では、上位全員が鞍部を越えている。16は16 → 17のレグを効果的にする為のもので、15 → 16は簡単になっても構わないものであったが、それでもアタック直前までコントロールが見えない位置になるように緩い丘を越えたところに設定した。16 → 17は果たして色々なルートに分かれた。木は、ここもすばやく一番低い鞍部を抜け、川もコンタが1本になる部分で直線的に通過し、浅くて広い2つ目の沢を降りると、最短で効果的なプランで光るラップを取っている。小山は18が先に見えてしまったのか、16まで2位につけていたのに、ここで痛恨のミスルート、大西は茂木の浅い沢の部分の小道の曲がりに置き換えただけで、ここで持ち直し、再度2位に浮上している。Dのルートも10秒ほどのロスで済んでおり、失敗ルートと決め付けるほどのものではない。

17 → 18では、まっすぐ斜めに登りはじめるよりも、大西のように緩い部分を走ってから登った方が速かったようだ。その後は、すぐ見て取れるヤブの間を抜けるのでそんなに難しくはない。

18 → 19

いよいよ、最後のメインのロングレグである。ここは、翌日のリレーとのテレイン使用配分も考えて、ロングをよりロングらしくさせるレグを最後に入れようと、真っ先に決まっていた、とことん単純化できたかどうかを問うレグである。

まずAであるが、ここを短絡できているのは上位では大西のみであった。そして、直進の出発点をBとするか、Cとするかが判断の大きな分岐点となる。正解はB、試走では何もみないでBからケビン村目指すのと、ちまちま地図を確認しながらCから出発するのは3分の差がついてしまった。30m余分に登らないといけなく、というもロスが大きい。Bルートの中でも西村のルートが秀逸なので、トップを取っている。ここはコンタすらきちんと読み込む必要がない。右側に長くまっすぐに続くヤブ（明るさもかなり違う）を見て取るだけで良いのだ。多少は必ずしも手前の南東にも同じレベルのまっすぐ長いヤブがあるのでどうにでも行ってしまうのである。実は、この2つの長いヤブの間を抜けるのが一番速いのである。（ケビン村まで登りがなくなる／実際には沢きりの時だけ登るが、このルートでは、沢のへこみ方も小さいのでスピードが落ちない）

ここは調査中の筆者が夕方どんなに暗くなってもこの2つのヤブの明るさだけを頼りに宿舎であるケビン村まで恐怖を感じることなく帰り着けていた。地面もすべて安定したAの林なので安全である。その経験を「究極の単純化」ということで、試合コースでも問うてみようとしたものである。

19 → F

狭い地図の中でも精一杯の演出を施したコースで、あとは今までのレイアウトから残った部分で最大限コース地図が見やすくなるように帰すだけ、それでも「20」の番号を打つ位置には配慮した。

お疲れ様でした。

WE

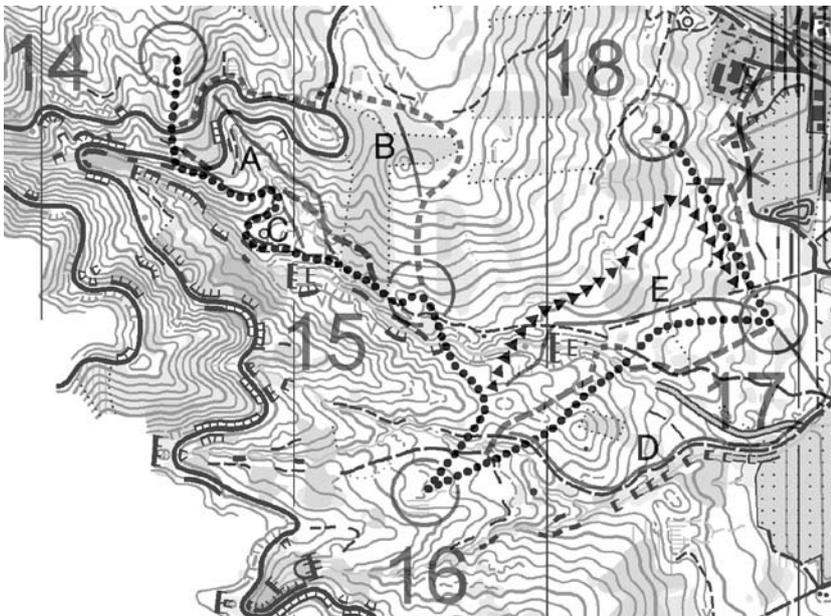
WEでは、会場まで一度戻ってスペクテーターズレーンを走らせて2周させることを優先すると、距離の制約から、効果的なレグがあまり組めこまない。今回はそれでも2本の勝負どころのロングレグを、どれだけ単純化できるかを課題に入れ込んだ。当初、後半にナビゲーション能力を問う細かいレグを11 → 12あたりで用意していたのだが、やむなく削除せざるを得ず、むしろWUAの方がロングらしい印象のコースになってしまった。試走時もスタッフ間で随分議論になったが、シニアのWEなら躊躇無く入れていただろう。ウィニングの結果からみても、ここらがインカレWEの落としどころなのかもしれない。

△ → 2

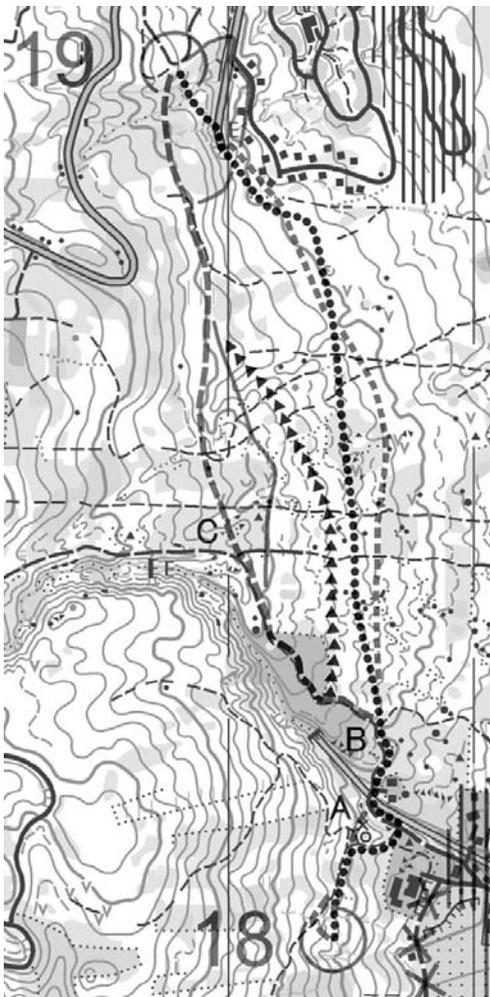
1までは川渡りの激斜面登りの直進しか方法がない。しかし、米谷のように少しでも斜面の緩くて白い部分で登りたい。1 → 2も直進しかないが、関谷は下にぶれミスをしている。

2 → 3

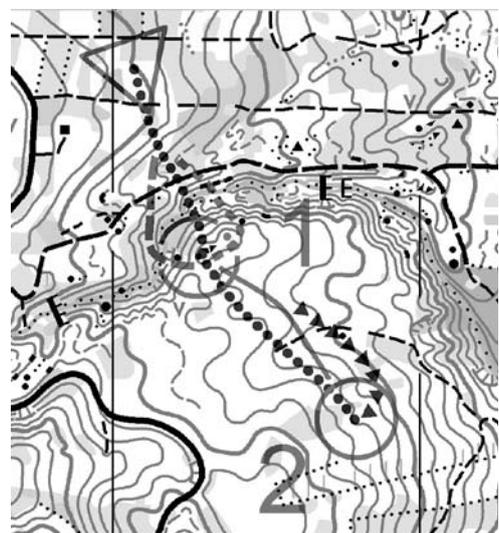
ロングレグへのつなぎの道走りレグであるが、米谷が圧倒的なラップを出している。どこで短絡するかで、多少のルートの変動はある。白倉は積極果敢に攻めている。橋を渡る前の祠のところと、井手の小道の曲がりからのアタックは、有効な短絡である。中島はオーバーランして別荘地でリロケート。



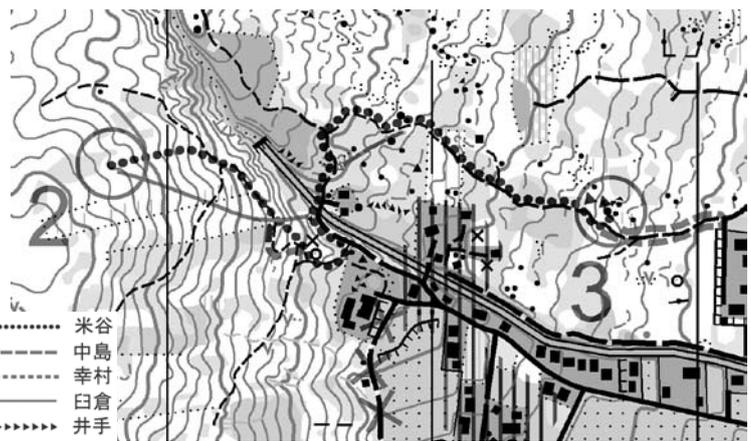
- 茂木
- 大西
- 西村
- ▶▶▶▶▶ 小山
- A 杉山
- B 小山
- C 津国
- D 杉山
- E 藤沼



- 西村 7:47
- 茂木 8:50
- 杉山 9:08
- 大西 8:55
- 津国 9:21
- 藤沼 9:29
- ▶▶▶▶▶ 山崎 9:32



- △-1 1-2
- 米谷 3:21 1:32
- 中島 4:11 1:55
- 幸村 3:48 1:43
- 井手 4:10 1:46
- ▶▶▶▶▶ 関谷



- 米谷
- 中島
- 幸村
- 白倉
- ▶▶▶▶▶ 井手

3 → 4

前半のメインのロングレグ、女子の実力を見るにこのテレインでは、昔から王道として設定されているレグである。上位5名のルートがもの見事にわかれた。さすがに舗装道路まで出るものはいなかったが、井手のルートなら、舗装道路周りの方が速かったであろう。あまり細かいことは気にせず前半のヤブの部分切り抜け、どこのヤブにぶつかるかでルートが変わってくる。中島は途中をBヤブの下辺をうまく使って無駄の無い動きをして、この区間のラップを取った。白倉もヤブをうまく抜けている。米谷や幸村のは、途中なにも考えないというプランだったのかもしれないが、得てしてコントロールの下に出てしまい、最後に登りなおして損をしてしまっている。ここはうまくヤブを使うのが良いルートである。5に関する意図は、男子と同じく、2車線道路への飛び出しを1箇所固定し、安全を確保するパトロールを置くためのものである。

5 → 8

男子の8 → 11にコメントは同じ。

レース的には中間速報の7番までを米谷がトップ、続いて白倉が健闘、井出が3 → 4のルートミスで入賞圏外という展開だったが、米谷は7 → 8で小さなミスをして一旦、白倉にトップを譲っている。中島は3 → 4からうまく勢いにのり、この区間でかなり追いつけている

8 → 9

ここも男子と共通のレッグ、後半の最初の勝負どころである。女子では、もっと大きくルートが分かれるのではないかと予想していたが、果たしてこの部分が大きく勝負の行方に左右したようである。白倉は8でトップに立ったものの、ここで大きくミスをして、再び米谷に抜き返されている。逆に井手は、この区間の快走で前半の遅れを取り戻し、入賞圏内に入り込んできた。中島も舗装道路に出たところで、現在位置を勘違いしたのだろう。幸村もおおきくぶれた。関谷は割り切った分急斜面を登る分と距離で遅くはなるが、深いキズにはなっておらずこの時点では3位に上がっている。

9 → 10

このレッグは、さっさと上の林道に上がってしまう方が速かった。

10 → 11

10までを2位に付けていた白倉が、このレッグでミスをして、一気に順位を4位まで落としてしまっている。女子にとってはヤブを全部避けて回り込むのが正解だったようだ。

11 → 12

ここもルートによって大きく明暗が分かれた。このあたりになると、いかに集中力を切らさないかも重要なポイントである。白倉は2レッグ続けての痛恨の大ミス、関谷も走りにくい部分のコンタリングでミスを重ね、ここのミスで入賞を逃すことになる。ここはもちろん、大きなヤブを上から巻いてアタックするのが正解だ。

12 → 13

最後の勝負のロングレッグ、スタッフ間でも色々議論したが、結局女子もきっちりロングの課題をこなしてもらおうということで、途中にコントロールを置かず男子と同じレッグとなった。総論解説は男子の項を参照。女子にとっては最善の直進をする選手は、男子よりは少ないだろう、と予想したが、ミスを取り戻そうという意識の働いている白倉が果敢に攻めトップラップを獲得した。白倉は後半浮き沈みの激しいレースをしている。井手のルートはここから出発するのはあまり得策ではない。幸村のルートは、ミスはしないが登りがさらに増えてしまう。米谷は、もうここでは優勝を確信していたのか安全策をとったようだ。中島のルートはきちんとプランがしっかりと出来ているいて、ぶれていない分が他の選手との差となって現れている。

13 → F

男子にコメント同じ、白倉はここでもルートミス。

お疲れ様でした

ME、WEとも試走の段階で、十分な検証ができていて、あとは選手がこちらの予想どおりのパフォーマンスを見せてくれれば、規則どおりの優勝タイムになるであろうと考えたが、ほぼ満足のいく結果となった。

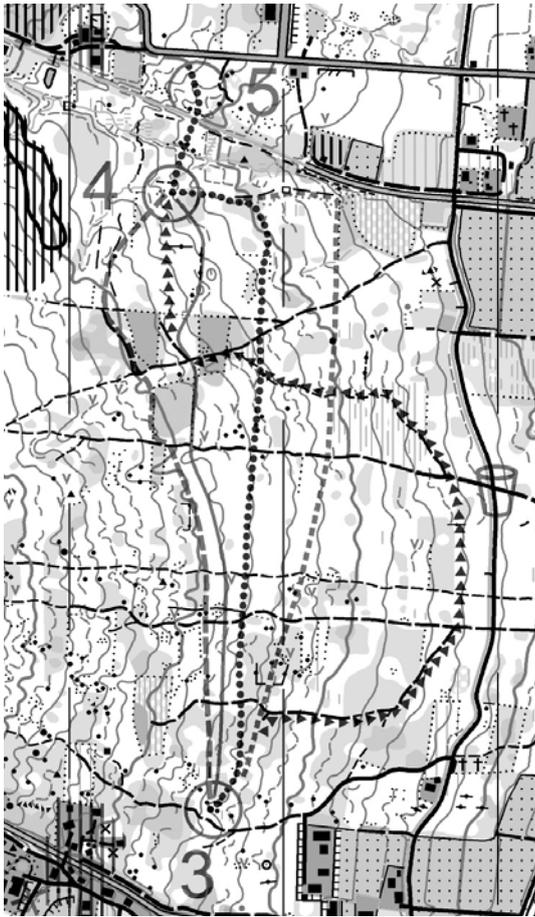
翌日のクラブカップでは、一転して細かい区域で細かいナビゲーション能力を問う設定でコースを組ませてもらった。同じトレインでありながら、まったく別の様相のオリエンテーリングを提供したのだが、十分に楽しんでいただけたであろうか。

尚、例年ページを割いて掲載されている優勝者のルート図は、本解説で全ルートが網羅されているので割愛させていただきます。

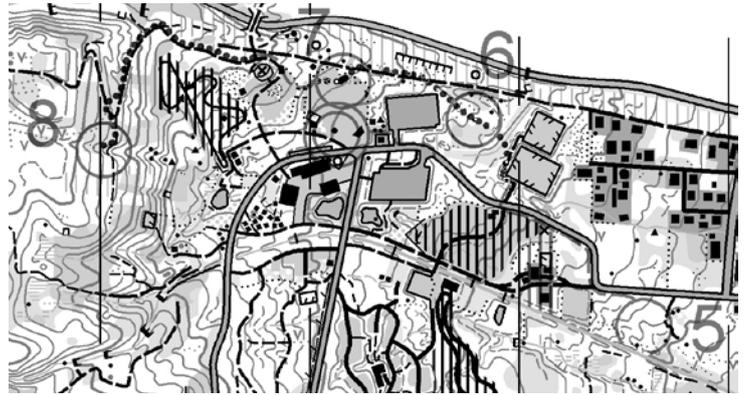
一般クラス

一般クラスも、ロングの併設であることを念頭に置いた。過去の成績を見ると、ロングの併設で30分以下の優勝タイムのコースもまま見られるが、今回は要項のタイムより優勝が短くなるようなことは避けつつもりである（日本のエース格である過年度生の松澤は別）。また、課題設定も、それぞれのクラスに適した、あくまでもロングの併設であることを念頭にコースを設定した。

最初に書いたように、わが国ではちゃんとした考えの元に設定されたロングのコースというのは本当に少ないと思う。本稿では、設定の際の考え方、試走段階での検証まで含めて、できるだけ詳しく書いたつもりである。学生選手権なのでMEで80分という規則があるので、このようなコースになったが（スキーO・日本のエースの堀江君が、併設の同じコースを75分で走りきっている）、シニアエリートでは、さらに10分間分の課題を用意しなければならない（世界レベルでは+30分）。進化した地図と同様、選手権という試合、ロングという種目にふさわしいように、よく練り込んで十分に検証した良質のコースが、今後も提供され続けることを願うばかりである。



- 3-4
 - - - - 中島 7:09
 米谷 7:52
 幸村 9:59
 ——— 臼倉 7:27
 >>>>> 井手 10:06

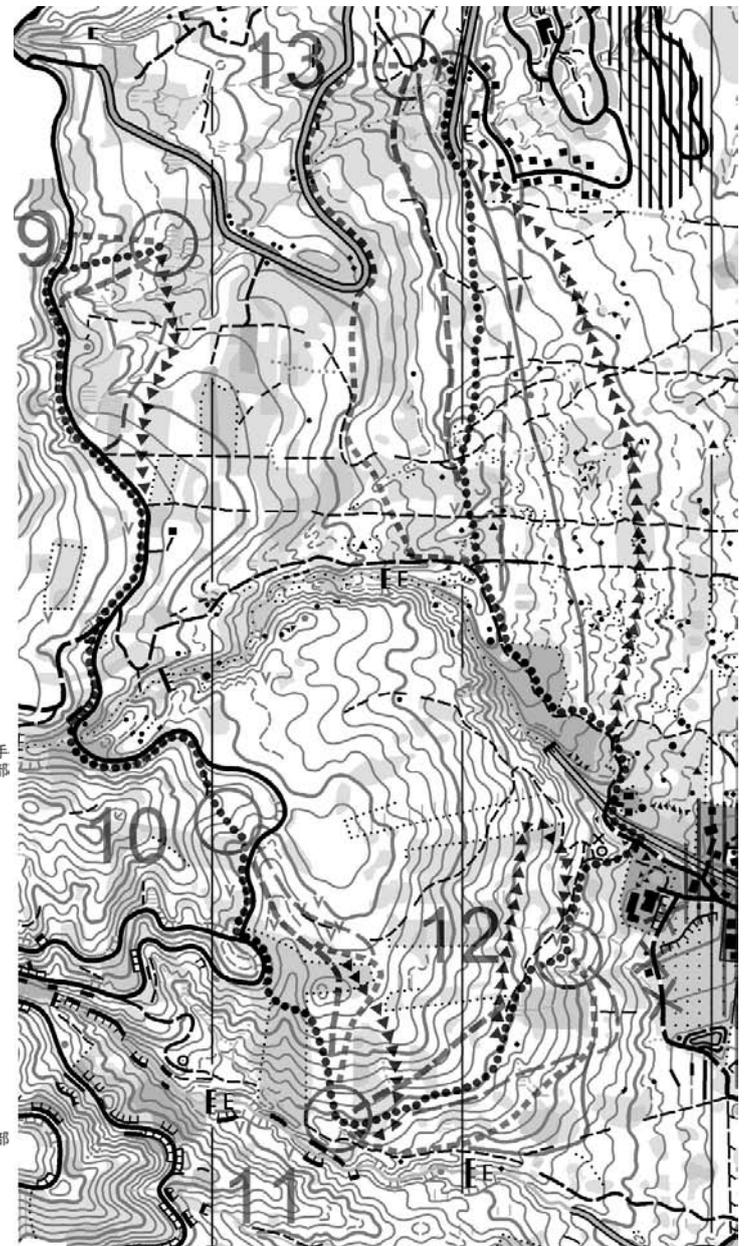


- 8 → 9
 米谷 6:41
 井手 6:45
 - - - - 中島 9:34
 幸村 9:42
 >>>>> 阿部 9:51
 ——— A 関谷 7:39
 ——— B 臼倉 10:30

- 9 → 10
 - - - - 中島 6:03 井手
 米谷 6:10 阿部
 幸村 7:00
 >>>>> 臼倉 7:07
 - - - - 関谷 7:03

- 10 → 11
 幸村 3:00
 井手 3:06
 米谷 3:42
 >>>>> 臼倉 6:09
 - - - - 関谷 3:55
 - - - - 阿部 3:38
 - - - - 中島 3:41

- 11 → 12
 - - - - 中島 3:39 阿部
 米谷 3:55
 幸村 4:56
 井手 5:21
 >>>>> 臼倉 9:20
 - - - - 関谷 11:28



- 12 >>>>> 臼倉 10:20
 中島 10:51
 ↓ 関谷 12:22
 13 米谷 12:45
 幸村 12:02
 井手 13:03
 - - - - 阿部 12:48



2006年度インカレロング			
ME,MEC	9.2km	530m	
▷		ハ	ハ
1	76	ハ	ハ
2	31	ハ	ハ
3	60	▲	1 ♂
4	32	ハ	ハ
5	33	ハ	ハ
6	92	↑	ハ
7	101	▲	1 ♂
8	78	ハ	ハ
○--- 280m --->			
9	57	▲	1 ♂
10	50	■	ハ
○--- 130m --->			
11	111	ハ	ハ
12	109	ハ	ハ
13	84	ハ	ハ
14	72	ハ	ハ
15	44	ハ	ハ
16	61	↑	ハ
17	42	ハ	ハ
18	45	ハ	ハ
19	115	ハ	ハ
20	48	ハ	ハ
○--- 170m --->			

2006年度インカレロング			
WE,WEC	5.7km	270m	
▷		ハ	ハ
1	82	→	▲ 2x2.5 ♂
2	77	ハ	ハ
3	88	ハ	0.5/2.5 ♂
4	101	▲	1 ♂
5	78	ハ	ハ
○--- 280m --->			
6	57	▲	1 ♂
7	50	■	ハ
○--- 130m --->			
8	111	ハ	ハ
9	109	ハ	ハ
10	73	ハ	ハ
11	44	ハ	ハ
12	45	ハ	ハ
13	115	ハ	ハ
14	48	ハ	ハ
○--- 170m --->			

2006年度インカレロング			
MUL1 MAL	5.7km	250m	
▷		ハ	ハ
1	69	ハ	ハ
2	64	ハ	3 ♂
3	40	ハ	ハ
4	37	ハ	ハ
5	36	ハ	ハ
6	39	ハ	ハ
7	91	ハ	3 ♂
8	93	ハ	ハ
9	90	ハ	1.5 ♂
10	103	ハ	ハ
11	105	ハ	ハ
12	113	ハ	ハ
13	79	ハ	ハ
14	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
MUL2 OAL	5.7km	240m	
▷		ハ	ハ
1	67	ハ	ハ
2	64	ハ	3 ♂
3	40	ハ	ハ
4	38	ハ	ハ
5	35	ハ	ハ
6	39	ハ	ハ
7	91	ハ	3 ♂
8	70	ハ	ハ
9	97	ハ	3 ♂
10	102	ハ	ハ
11	105	ハ	ハ
12	110	▲	1x1.5 ♀
13	79	ハ	ハ
14	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
MUS MAS,M50	4.7km	270m	
▷		ハ	ハ
1	74	ハ	2 ♀
2	69	ハ	ハ
3	41	ハ	ハ
4	34	ハ	ハ
5	71	ハ	1.5x3 ♂
6	87	▲	2.5 ♀
7	90	ハ	1.5 ♂
8	91	ハ	3 ♂
9	94	ハ	1 ♂
10	96	ハ	2 ♂
11	102	ハ	ハ
12	105	ハ	ハ
13	113	ハ	ハ
14	79	ハ	ハ
15	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度(第29回)
日本学生オリエンテーリング
選手権大会
ロングディスタンス部門
2006年9月17日(日)
「駒ヶ根高原2006」
長野県駒ヶ根市

2006年度インカレロング			
MUB	3.5km	200m	
▷		ハ	ハ
1	87	▲	2.5 ♀
2	91	ハ	3 ♂
3	94	ハ	1 ♂
4	102	ハ	ハ
5	106	ハ	ハ
6	107	ハ	ハ
7	110	▲	1x1.5 ♀
8	79	ハ	ハ
9	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
MF	4.2km	200m	
▷		ハ	ハ
1	74	ハ	2 ♀
2	80	▲	1.5x3 ♂
3	75	ハ	1.5 ♂
4	34	ハ	ハ
5	91	ハ	3 ♂
6	70	ハ	ハ
7	95	▲	1.5x3 ♂
8	102	ハ	ハ
9	104	ハ	ハ
10	107	ハ	ハ
11	110	▲	1x1.5 ♀
12	79	ハ	ハ
13	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
WUL,WAL OAM	4.5km	250m	
▷		ハ	ハ
1	83	ハ	ハ
2	64	ハ	3 ♂
3	41	ハ	ハ
4	39	ハ	ハ
5	91	ハ	3 ♂
6	94	ハ	1 ♂
7	96	ハ	2 ♂
8	102	ハ	ハ
9	105	ハ	ハ
10	110	▲	1x1.5 ♀
11	79	ハ	ハ
12	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
WUS,WAS W50,OAS	3.5km	190m	
▷		ハ	ハ
1	74	ハ	2 ♀
2	67	ハ	ハ
3	43	▲	0.5/2 ♀
4	62	ハ	ハ
5	71	ハ	1.5x3 ♂
6	87	▲	2.5 ♀
7	95	▲	1.5x3 ♂
8	96	ハ	2 ♂
9	104	ハ	ハ
10	107	ハ	ハ
11	113	ハ	ハ
12	79	ハ	ハ
13	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
WF	3.4km	190m	
▷		ハ	ハ
1	116	ハ	ハ
2	75	ハ	1.5 ♂
3	81	ハ	ハ
4	87	▲	2.5 ♀
5	93	ハ	ハ
6	70	ハ	ハ
7	104	ハ	ハ
8	107	ハ	ハ
9	110	▲	1x1.5 ♀
10	79	ハ	ハ
11	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

2006年度インカレロング			
WUB	3.0km	170m	
▷		ハ	ハ
1	116	ハ	ハ
2	80	▲	1.5x3 ♂
3	81	ハ	ハ
4	88	▲	0.5/2.5 ♂
5	90	ハ	1.5 ♂
6	106	ハ	ハ
7	107	ハ	ハ
8	110	▲	1x1.5 ♀
9	79	ハ	ハ
10	100	ハ	ハ
○--- 140m --->			

編集後記

- ・発行が大幅に遅れたこと申し訳ありませんでした。K
- ・遅れた分、中身の濃い報告書になったと思っています。K
- ・インカレでは初めて、完全デジタル製版で作成したので、図版は読みやすいのでは？ Y
- ・インカレの準備、運営の楽しい日々が思い出されます。A
- ・これからも、多くの方々にまた駒ヶ根に来て欲しいです。A

2006年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロングディスタンス競技部門 報告書

2007年3月10日発行

発行所 日本学生オリエンテーリング連盟
〒112-0014 東京都文京区関口 3-18-2 目白台芙蓉ハイツ 104
TEL/FAX 050-2012-4825
ウェブサイト <http://www.orienteering.com/~uofj/index.html>

発行責任者 2006年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロングディスタンス部門実行委員会
実行委員長 木村佳司

編集・製作 有限会社ジェネシスマッピング



駒ヶ根高原2006

長野県駒ヶ根市

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



2006年度(第29回)
日本学生オリエンテーリング
選手権大会
ロング・ディスタンス部門
2006年9月17日(日)

給水所
 立入禁止
緊急連絡先:
木村携帯
090-3333-0893

All Controls 63

特殊記号
○ 石碑
× 祠・小構造物
○ フィールド
アスレチック

Trimble GPS
OCAD

Trimble D-GPS使用
OCAD 8.13
License No.1995

地図作成
(有)ジェネシスマッピング
調査期間
2006年5月~9月
D-GPSによるプロット
調査・作図
和泉 祐
山川 克則

GENESYS
MAPPING
on demand supply